

案件対象施設
及び
指定管理者候補者選定方法等一覽
(施設所管課による選定方法等案)

令和5年7月20日開催
弘前市指定管理者選定等審議会

案件対象施設及び指定管理者候補者選定方法等一覧（総括表）

No.	募集グループ名	施設名称	施設数	選定方法等(案)			(参考)現在の状況			施設所管課
				選定方法	指定管理者	指定期間(年)	選定方法	指定管理者	指定期間(年)	
1	弘前市宮川交流センター	弘前市宮川交流センター	1	非公募	和徳学区町会連合会	5	非公募	和徳学区町会連合会	5	市民協働課
2	弘前市清水交流センター	弘前市清水交流センター	1	非公募	清水交流センター管理運営委員会	5	非公募	清水交流センター管理運営委員会	5	
3	サンライフ弘前	サンライフ弘前	1	非公募	「サンライフ弘前」管理運営委員会	5	非公募	「サンライフ弘前」管理運営委員会	5	
4	弘前市千年交流センター	弘前市千年交流センター	1	非公募	弘前市千年地区町会連合会	5	非公募	弘前市千年地区町会連合会	5	
5	弘前市三省地区交流センター	弘前市三省地区交流センター	1	非公募	三省地区交流センター運営委員会	5	非公募	三省地区交流センター運営委員会	5	
6	弘前市町田地区ふれあいセンター	弘前市町田地区ふれあいセンター	1	非公募	町田地区ふれあいセンター運営委員会	5	非公募	町田地区ふれあいセンター運営委員会	5	
7	裾野地区体育文化交流センター	裾野地区体育文化交流センター	1	非公募	裾野地区町会連合会	5	非公募	裾野地区町会連合会	5	
8	新和地区体育文化交流センター	新和地区体育文化交流センター	1	非公募	新和地区町会連合会	5	非公募	新和地区町会連合会	5	
9	岩木嶽さわやかホール	岩木嶽さわやかホール	1	非公募	常盤野町会	5	非公募	常盤野町会	5	
10	岩木常盤野コミュニティセンター	岩木常盤野コミュニティセンター	1	非公募	岩木常盤野コミュニティセンター管理組合	5	非公募	岩木常盤野コミュニティセンター管理組合	5	
11	昂地区集会所	昂地区集会所	1	非公募	昂町会	5	非公募	昂町会	5	
12	弘前職業能力開発校	弘前職業能力開発校	1	非公募	職業訓練法人弘前職業訓練協会	2	非公募	職業訓練法人弘前職業訓練協会	5	商工労政課
13	弘前市伝統産業会館	弘前市伝統産業会館	1	非公募	弘前市伝統産業会館管理運営委員会	5	非公募	弘前市伝統産業会館管理運営委員会	5	産業育成課
14	弘前市立観光館駐車場	弘前市立観光館駐車場	1	公募	—	5	公募	株式会社あおもり総合管理	5	観光課
合計			14							

1～11 交流センター等

指定管理者候補者選定方法等 (補足資料)

※上記施設の選定方法等は類似した内容であることから、
各施設の指定管理料基準額、人員配置及び利用件数等を
一覧にまとめたもの

弘前市交流センター指定管理者候補者選定方法審議会 補足資料

施設名	指定管理料関係		増減内容	人員配置		利用者数・利用件数						
	次期指定管理料(単年度)A	現期指定管理料(単年度)B 増減額A-B		積算上の職員数	実際の職員数	H30	H31・R1	R2	R3	R4		
弘前市青年交流センター	9,193千円	9,075千円	118千円	一般職給料の増、 消耗品費の増、 施設修繕料の増	職員5名(うち、1名施設長 兼任) 所長1名(非常勤)、職員5名	職員5名(うち、1名施設長 兼任)	職員5名(うち、1名施設長 兼任)	47,166人 3,208件	52,682人 3,160件	36,858人 2,678件	31,839人 2,304件	41,330人 2,879件
弘前市豊川交流センター	8,982千円	9,171千円	△189千円	非常勤職員報酬の減、 施設修繕料の増	所長1名(非常勤)、職員5名	職員5名(うち、1名施設長 兼任)	職員5名(うち、1名施設長 兼任)	30,073人 2,693件	28,879人 2,743件	20,999人 2,213件	16,372人 1,930件	24,537人 2,725件
サンライフ弘前	11,595千円	11,325千円	270千円	一般職給料の減、 消耗品費の増、 施設修繕料の増	一般職員5名(うち、1名施設長 兼任)、臨時職員1名	一般職員5名(うち、1名施設長 兼任)	一般職員5名(うち、1名施設長 兼任)	60,589人 2,128件	56,649人 2,050件	45,749人 1,702件	43,294人 1,606件	51,351人 2,023件
弘前市東田地区ふれあいセンター	7,339千円	6,907千円	432千円	一般職給料の増、 消耗品費の増、 施設修繕料の増	一般職員4名(うち、1名施設長 兼任)	一般職員4名(うち、1名施設長 兼任)	一般職員4名(うち、1名施設長 兼任)	29,284人 708件	33,199人 704件	27,016人 609件	20,090人 476件	26,717人 803件
新田地区体育文化交流センター	6,438千円	6,326千円	112千円	賃金の減、 消耗品費の増、 施設修繕料の増	一般職員3名(うち、1名施設長 兼任)	一般職員3名(うち、1名施設長 兼任)	一般職員3名(うち、1名施設長 兼任)	12,538人 553件	12,439人 654件	9,731人 502件	8,113人 457件	10,856人 622件
福野地区体育文化交流センター	6,575千円	6,606千円	△31千円	賃金の減、 消耗品費の増、 施設修繕料の増	一般職員3名(うち、1名施設長 兼任)	一般職員3名(うち、1名施設長 兼任)	一般職員3名(うち、1名施設長 兼任)	10,255人 509件	9,829人 529件	9,511人 523件	6,163人 364件	7,163人 535件
弘前市青年交流センター	9,235千円	9,069千円	166千円	一般職給料の増、 消耗品費の増、 施設修繕料の増	職員5名(うち、1名施設長 兼任)	職員5名(うち、1名施設長 兼任)	職員5名(うち、1名施設長 兼任)	26,049人 2,353件	26,669人 2,221件	18,739人 1,738件	13,679人 1,376件	20,675人 2,031件
弘前市三善地区交流センター	6,154千円	6,056千円	98千円	一般職給料の減、 消耗品費の増、 施設修繕料の増	一般職員3名(うち、1名施設長 兼任)	一般職員3名(うち、1名施設長 兼任)	一般職員3名(うち、1名施設長 兼任)	6,943人 627件	6,902人 771件	5,815人 761件	5,286人 637件	6,838人 917件

集会施設指定管理者候補者選定方法審議会 補足資料

施設名	指定管理料関係			人員配置	利用者数・利用件数					
	次期指定管理料(単年度) A	現指定管理料(単年度) B	増減額 A-B		増減内容	H30	H31・R1	R2	R3	R4
	岩木嶽さわやかホール	0千円	0千円		0千円		302人 14件	112人 5件	28人 2件	91人 3件
岩木常盤野コミュニティセンター	0千円	0千円	0千円		245人 14件	135人 10件	131人 10件	44人 5件	73人 5件	
昴地区集会所	0千円	0千円	0千円		1,577人 134件	1,147人 133件	701人 95件	602人 78件	656人 114件	

1 弘前市宮川交流センター

指定管理者候補者選定方法等一覧

弘前市宮川交流センター指定管理者候補者選定方法等一覧

担当部課名	市民生活部市民協働課
施設名称	弘前市宮川交流センター
1. 施設の概要について	
設置の目的	世代間の交流事業や高齢者に対する生きがいづくりの事業を行い、その保健福祉の向上を図る。
施設所在地	弘前市大字堅田二丁目2番地6
開館日	平成9年10月
施設規模	延床面積 1,438㎡ 鉄筋コンクリート造 平屋建
施設内容	1階 集会室兼軽体育室、和室、研修室、調理実習室、伝承室、世代交流室、図書室、事務室ほか 共用部分 ロビー・ホール、下足コーナー、廊下、トイレほか 【付属施設】 駐車場 30台分、駐輪場 30台分、屋外ゲートボール場 1面
開館時間	9:00～21:00 休館日：月曜日（祝日のときはその翌日）、祝日（この日が月曜日または土曜日にあたる日を除く）の翌日、年末年始
指定管理者制度の導入・更新時期	平成18年4月導入・平成22年4月更新・平成26年4月更新・平成31年4月更新
現在の指定管理者	和徳学区町会連合会

弘前市宮川交流センター指定管理者候補者選定方法等一覧

2. 現指定期間の実績・評価・課題等について							
項目	H30年度	H31・R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	評価	
成果指標 / 利用状況	指標	利用者数(単位:人)					<p>評価指標は、利用者数と利用件数を設定している。</p> <p>指定期間5年間のうち、令和元年度末から令和3年度まで、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、目標達成は困難であったと判断できる。</p> <p>両指標とも新型コロナウイルス感染症の影響がある年度は達成率が5割から7割であるが、新型コロナウイルス感染症の影響前、令和4年度は、達成度100%を超える指標があることは評価できる。</p>
	目標値	37,128	31,920	31,920	31,920	31,920	
	実績	30,073	28,879	20,999	16,372	24,537	
	達成度	81%	90%	66%	51%	77%	
		利用件数(単位:件)					
	目標値	2,884	2,652	2,652	2,652	2,652	
	実績	2,693	2,743	2,213	1,930	2,725	
達成度	93%	103%	83%	73%	103%		
指定管理者の収支状況	項目	H30年度	H31・R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	<p>例年、指定管理料内で施設運営を実施しており、適正な収支状況で施設運営に努めていると評価できる。</p>
	収支	115	407	270	588	477	
	収入(千円)	9,156	9,166	9,171	9,171	9,171	
	指定管理料	9,156	9,166	9,171	9,171	9,171	
	利用料金	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	0	
	支出(千円)	9,041	8,759	8,901	8,583	8,694	
	人件費	8,466	8,281	8,259	8,326	8,355	
	事務費	561	462	601	245	314	
	管理費	14	16	41	12	25	
その他	0	0	0	0	0		

弘前市宮川交流センター指定管理者候補者選定方法等一覧

項目		内容
管理運営業務	主な管理運営業務の内容	受付、使用許可業務、維持管理業務(施設・設備日常点検等)、自主事業の企画運営
	結果	管理については利用者の安心安全を第一とし、故障や不具合の発生に対し速やかに対処した。運営については利用者ニーズを捉え、法令遵守しながら、公平な貸館とサービス提供に努めた。
	評価	一般利用者へのアンケート調査や意見聴取を行うなど利用者ニーズ把握に努め、対応可能な場合は意見を反映させるなどサービス向上への意欲が高く、施設の管理運営全般的に適正であると評価できる。
自主事業	事業計画の内容	施設利用者の各サークルとの連携・協働により例年ダンスサークル等複数あるサークルの合同イベントやねぶたの色つけ体験の開催、施設25周年を記念した各種イベントを実施するなど、積極的に自主事業を実施している。
	結果	新型コロナウイルス感染症の影響による中止もあったが、地域住民の世代間交流をはじめとした交流センターの設置目的を達成することができた。
	評価	世代間の交流事業や高齢者に対する生きがいをづくりの事業を行い、その保健福祉の向上を図る効果があったと評価できる。
評価課題を踏まえた、指定管理者の選定方法や施設の管理運営における課題		管理は適切だったと評価できるが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響もあり目標値を達成できない年度が多かった。地域住民をはじめ、より多くの世代間交流事業や高齢者への生きがいをづくり事業などを実施し、利用者の増加を図ることが課題である。
評価課題を踏まえて、指定管理者の選定方法や施設の管理運営に反映した改善内容		まずは成果指標の数値を新型コロナウイルス感染症の感染拡大以前に回復することを目指し、平成28～30年度の3か年平均を目標値として設定した(なお、年間利用件数については、令和4年度実績が平成28年度から平成30年度の平均を既に超えているため、令和4年度実績を1割増加した数値を指標とした)。また、コロナ禍においても評価しやすい成果指標として「施設全体の満足度」を追加した。

3. 指定管理者に特に要請する事項

- ①利用促進
利用者の増加を図る効果的な事業提案により、成果指標である年間利用者・件数の増加を要請する。
- ②市民サービス向上
利用者アンケートの要望等を管理方法に反映し、成果指標である利用者満足度の向上を要請する。
- ③施設管理の徹底
市民が安全かつ快適に施設を利用できるよう、施設を適正に管理することを要請する。

4. 次期指定期間における成果指標について

指標内容	年間利用者数(人)				
目標値	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度
	31,304	31,304	31,304	31,304	31,304
指標内容	年間利用件数(件)				
目標値	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度
	2,997	2,997	2,997	2,997	2,997
指標内容	アンケート満足度(%)				
目標値	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度
	90	90	90	90	90

弘前市宮川交流センター指定管理者候補者選定方法等一覧

5. 次期指定管理者の選定方法等について			
募集方法	非公募		
非公募とする団体	和徳学区町会連合会		
非公募とする理由	弘前市宮川交流センターは地域住民のコミュニティ活動の拠点となる施設であることから、地域の人材を積極的に活用することにより、施設の設置目的に沿った管理運営を行うことができるため。		
指定期間	令和6年4月1日～令和11年3月31日(5年)		
5年以外とする理由			
利用料金制の有無	導入しない		
応募要件			
グループ応募の可否			
事業所の範囲			
専門資格等の要否			
選定基準			
評価項目	評価の視点		配点
(1) 総合的事項			10
施設の設置目的及び市が示した管理運営の方針との適合性	設置目的を理解し、市が示した管理運営方針に沿った提案となっているか。		10
(2) 市民の平等な利用を確保することができること			5
平等な利用を図るための具体的手法及び期待される効果	関係法令等の遵守、利用者の平等な利用の確保、差別的な取り扱いをしないための具体的な手法が記載され、十分な効果が期待できる内容となっているか。		5
(3) 施設の設置目的を効果的に達成することができること			50
① 利用者の増加を図るための具体的手法及び期待される効果	利用者の増加を図るために、具体的な事業計画が記載され、十分な効果が期待できる内容となっているか。		15
② サービスの向上を図るための具体的手法及び期待される効果	利用者への基本的なサービス向上を図るものであるとともに、利用者等の要望や意見を日常的及び定期的に把握するための仕組みを整え、把握した要望等について管理に反映するための具体的な計画が記載され、その実現性が高いものとなっているか。		15
③ 施設の維持管理の内容、適格性及び実現の可能性	市民が快適に施設を使用できるよう、施設を適正に維持管理するとともに、常に効率的、効果的な管理に努めることができるよう、具体的な実施計画が記載され、その内容が的確で実現性の高い内容となっているか。		15
④ 自主事業の企画内容及び期待される効果	施設の設置目的を効果的に達成するために具体的な事業計画が記載され、十分な効果が期待できる内容となっているか。		5

弘前市宮川交流センター指定管理者候補者選定方法等一覧

(4)	施設の効率的な管理運営ができること		15
	① 施設の管理運営に係る経費の内容	人件費を含めて、施設の管理に係る経費の内容が具体的で、適正に見込まれているか。	10
	② 収支計画の内容、適格性及び実現の可能性	収入、支出の積算と事業計画の整合性は図られているか。収支計画の実現可能性はあるか。	5
(5)	施設の管理運営を適正かつ確実に行う能力を有していること		20
	① 安定的な管理運営が可能となる人的能力	団体の組織体制が確立され、指揮命令系統及び責任の所在が明らかになっているか。 施設管理に係る職員の位置づけが明確にされているか。 常に1名以上の職員を配置する計画となっているか。 施設運営に配慮した人材の配置となっているか。 職員確保の方策は適切か。 職員の指導育成、研修体制は十分か。	10
	② 個人情報等の適正な取扱いの確保	個人情報等の適正な取り扱いの確保について具体的に記載しており、その実現性が高い内容になっているか。	5
	③ これまでの管理運営実績	これまでのセンターの管理運営実績について、どのような実績があるか。	5
合計			100

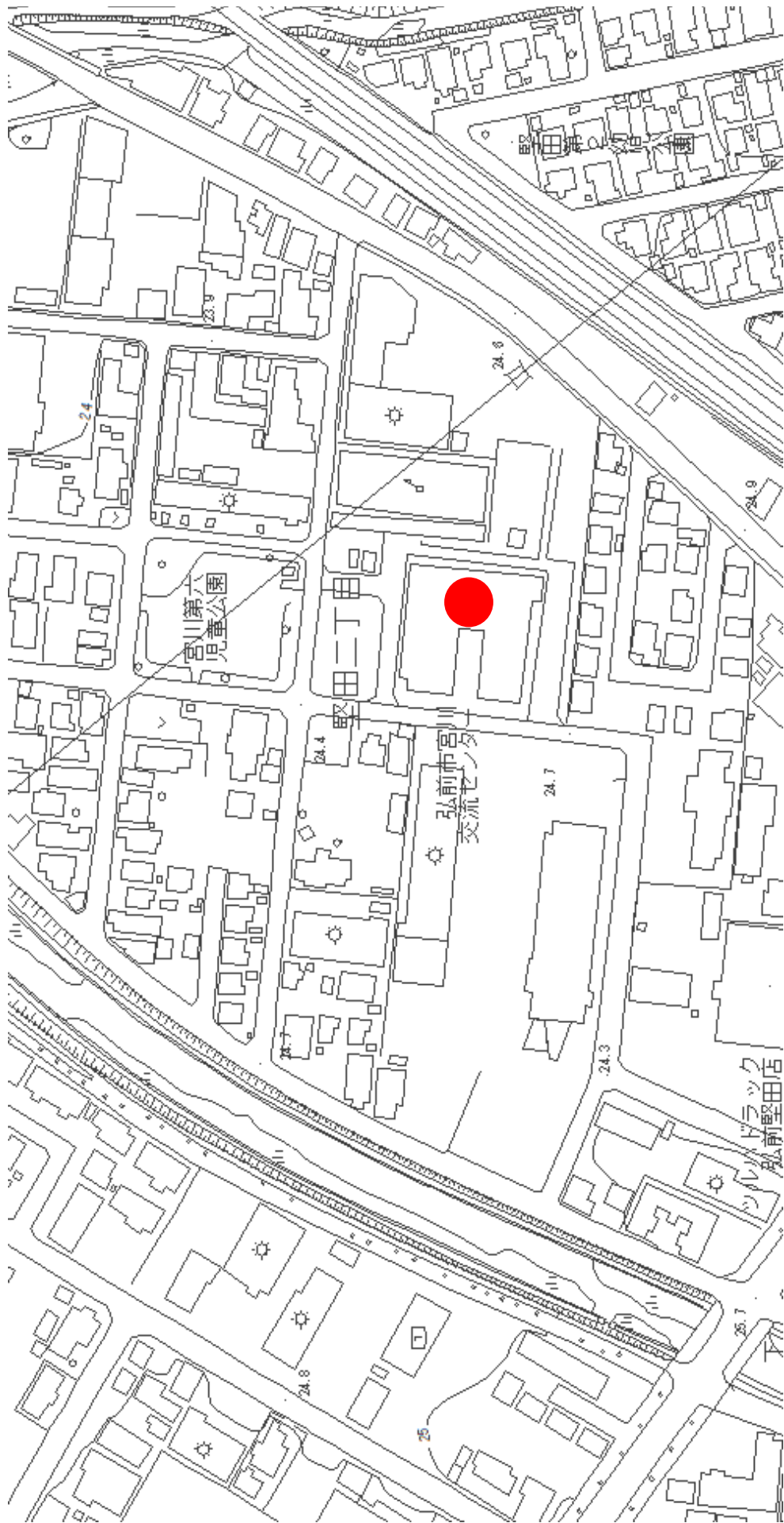
弘前市宮川交流センター指定管理者候補者選定方法等一覧

6. 指定管理者の業務内容について				
項目	業務区分		説明	
	指定管理者	市		
1	維持管理に関する事業			
	(1)	建築物等保守管理業務		
		①	巡視及び異常時の連絡	○
		②	保守・点検(専門的)	○
		③	小額修繕(1件あたり10万円未満)	○
		④	中・大規模修繕	○
	(2)	機械・設備保守管理業務		○
	(3)	清掃業務		○
	(4)	植栽管理業務		○
	(5)	警備業務		
		①	人警備	○
		②	機械警備	○
	(6)	除雪業務		○
	(7)	備品関連業務		
		①	備品の管理	○
		②	備品の調達	○
		③	調達備品の保守・点検	○
2	使用の許可等に関する事		○	
3	使用料の収納業務に関する事		○	
4	施設で行う事業の実施に関する事			
	自主事業		○	
	期待する自主事業の内容		交流センターの設置目的を達成する事業であり、施設の周知、利用者の増加につながる事業	
新たに指定管理業務に追加する業務			特になし	
職員配置等の条件			①施設全体を統括できる能力を有する施設長を1名配置すること。(連絡が取れる体制であれば、常駐の必要はなし。) ②開館時間中は、特別の場合を除き、常に1名以上の職員を勤務させること。 ③職員の勤務形態は、労働関係法令を遵守し、センターの管理に支障がないように定めること。 ④職員に対して、施設の管理に必要な研修を実施すること。	
現在の職員配置体制			所長1名、事務員5名	
補足説明				

弘前市宮川交流センター指定管理者候補者選定方法等一覧

7. 指定管理料の積算内訳			
	次年度収支予算(千円)	令和5年度収支予算(千円)	増減
指定管理業務に係る収入	8,982	9,171	-189
利用料金	0	0	0
指定管理料	8,982	9,171	-189
その他	0	0	0
指定管理業務に係る支出	8,982	9,171	-189
人件費	8,450	8,705	-255
事務費	402	406	-4
管理費	94	30	64
その他	36	30	6
増減の主な内容	<ul style="list-style-type: none"> ・非常勤職員報酬の減 ・施設修繕料の増 		

弘前市宮川交流センター 資料





【写真1】外観



【写真2】内装①



【写真3】内装②

2 弘前市清水交流センター

指定管理者候補者選定方法等一覧

弘前市清水交流センター指定管理者候補者選定方法等一覧

担当部課名	市民生活部市民協働課
施設名称	弘前市清水交流センター
1. 施設の概要について	
設置の目的	世代間の交流事業や高齢者に対する生きがいづくりの事業を行い、その保健福祉の向上を図る。
施設所在地	弘前市大字大開二丁目1番地2
開館日	平成6年11月
施設規模	延床面積 1,332㎡ 鉄筋コンクリート造 平屋建
施設内容	1階 集会室兼軽体育室、和室、研修室、調理実習室、伝承室、世代交流室、図書室、事務室ほか 共用部分 ロビー・ホール、下足コーナー、廊下、トイレほか 【付属施設】 駐車場 34台分、駐輪場 30台分、屋外ゲートボール場 1面
開館時間	9:00～21:00 休館日：月曜日（祝日のときはその翌日）、祝日（この日が月曜日または土曜日にあたる日を除く）の翌日、年末年始
指定管理者制度の導入・更新時期	平成18年4月導入・平成22年4月更新・平成26年4月更新・平成31年4月更新
現在の指定管理者	清水交流センター管理運営委員会

弘前市清水交流センター指定管理者候補者選定方法等一覧

2. 現指定期間の実績・評価・課題等について							
項目	H30年度	H31・R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	評価	
成果指標 / 利用状況	指標	利用者数(単位:人) ※なかよし会(世代交流室)実績含む					<p>評価指標は、利用者数と利用件数を設定している。</p> <p>指定期間5年間のうち、令和元年度末から令和3年度まで、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、目標達成は困難であったと判断できる。</p> <p>両指標とも新型コロナウイルス感染症の影響がある年度は達成率が6割から7割であるが、新型コロナウイルス感染症影響前は、達成度100%を超える指標があり、令和4年度は両指標とも達成度が8割以上になっていることは評価できる。</p>
	目標値	50,461	47,613	47,613	47,613	47,613	
	実績	47,166	52,682	36,858	31,839	41,330	
	達成度	93%	111%	77%	67%	87%	
		利用件数(単位:件) ※なかよし会(世代交流室)実績含む					
	目標値	2,828	3,232	3,232	3,232	3,232	
	実績	3,208	3,160	2,678	2,304	2,879	
達成度	113%	98%	83%	71%	89%		
指定管理者の収支状況	項目	H30年度	H31・R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	<p>例年、指定管理料内で施設運営を実施しており、適正な収支状況で施設運営に努めていると評価できる。</p>
	収支	37	540	32	40	87	
	収入(千円)	9,061	9,071	9,075	9,075	9,075	
	指定管理料	9,061	9,071	9,075	9,075	9,075	
	利用料金	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	0	
	支出(千円)	9,024	8,531	9,043	9,035	8,988	
	人件費	8,671	8,116	8,624	8,647	8,567	
	事務費	347	414	405	359	402	
	管理費	6	1	14	29	19	
その他	0	0	0	0	0		

弘前市清水交流センター指定管理者候補者選定方法等一覧

項目		内容
管理運営業務	主な管理運営業務の内容	受付、使用許可業務、維持管理業務(施設・設備日常点検等)、自主事業の企画運営
	結果	管理については利用者の安心安全を第一とし、故障や不具合の発生に対し速やかに対処した。運営については利用者ニーズを捉え、法令遵守しながら、公平な貸館とサービス提供に努めた。
	評価	一般利用者へのアンケート調査や意見聴取を行うなど利用者ニーズ把握に努め、対応可能な場合は意見を反映させるなどサービス向上への意欲が高く、施設の管理運営全般的に適正であると評価できる。
自主事業	事業計画の内容	地域住民との連携・協働により例年『農家の「かつちゃ」の漬け物作り』という地域の伝統料理教室を開催するなど、積極的に自主事業を実施している。
	結果	新型コロナウイルス感染症の影響による中止もあったが、地域住民の世代間交流をはじめとした交流センターの設置目的を達成することができた。
	評価	世代間の交流事業や高齢者に対する生きがいづくりの事業を行い、その保健福祉の向上を図る効果があったと評価できる。
評価課題を踏まえた、指定管理者の選定方法や施設の管理運営における課題		管理は適切だったと評価できるが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響もあり目標値を達成できない年度が多かった。地域住民をはじめ、より多くの世代間交流事業や高齢者への生きがいづくり事業などを実施し、利用者の増加を図ることが課題である。
評価課題を踏まえて、指定管理者の選定方法や施設の管理運営に反映した改善内容		まずは成果指標の数値を新型コロナウイルス感染症の感染拡大以前に回復することを目指し、平成28～30年度の3か年平均を目標値として設定した。また、コロナ禍においても評価しやすい成果指標として「施設全体の満足度」を追加した。

3. 指定管理者に特に要請する事項

①利用促進

利用者の増加を図る効果的な事業提案により、成果指標である年間利用者・件数の増加を要請する。

②市民サービス向上

利用者アンケートの要望等を管理方法に反映し、成果指標である利用者満足度の向上を要請する。

③施設管理の徹底

市民が安全かつ快適に施設を利用できるよう、施設を適正に管理することを要請する。

4. 次期指定期間における成果指標について

指標内容	年間利用者数(人) ※なかよし会(世代交流室)の実績を除いています。				
目標値	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度
	37,006	37,006	37,006	37,006	37,006
指標内容	年間利用件数(件) ※なかよし会(世代交流室)の実績を除いています。				
目標値	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度
	2,935	2,935	2,935	2,935	2,935
指標内容	アンケート満足度(%)				
目標値	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度
	90	90	90	90	90

弘前市清水交流センター指定管理者候補者選定方法等一覧

5. 次期指定管理者の選定方法等について			
募集方法	非公募		
非公募とする団体	清水交流センター管理運営委員会		
非公募とする理由	弘前市清水交流センターは地域住民のコミュニティ活動の拠点となる施設であることから、地域の人材を積極的に活用することにより、施設の設置目的に沿った管理運営を行うことができるため。		
指定期間	令和6年4月1日～令和11年3月31日(5年)		
5年以外とする理由			
利用料金制の有無	導入しない		
応募要件			
グループ応募の可否			
事業所の範囲			
専門資格等の要否			
選定基準			
評価項目	評価の視点		配点
(1) 総合的事項			10
施設の設置目的及び市が示した管理運営の方針との適合性	設置目的を理解し、市が示した管理運営方針に沿った提案となっているか。		10
(2) 市民の平等な利用を確保することができること			5
平等な利用を図るための具体的手法及び期待される効果	関係法令等の遵守、利用者の平等な利用の確保、差別的な取り扱いをしないための具体的な手法が記載され、十分な効果が期待できる内容となっているか。		5
(3) 施設の設置目的を効果的に達成することができること			50
① 利用者の増加を図るための具体的手法及び期待される効果	利用者の増加を図るために、具体的な事業計画が記載され、十分な効果が期待できる内容となっているか。		15
② サービスの向上を図るための具体的手法及び期待される効果	利用者への基本的なサービス向上を図るものであるとともに、利用者等の要望や意見を日常的及び定期的に把握するための仕組みを整え、把握した要望等について管理に反映するための具体的な計画が記載され、その実現性が高いものとなっているか。		15
③ 施設の維持管理の内容、適格性及び実現の可能性	市民が快適に施設を使用できるよう、施設を適正に維持管理するとともに、常に効率的、効果的な管理に努めることができるよう、具体的な実施計画が記載され、その内容が的確で実現性の高い内容となっているか。		15
④ 自主事業の企画内容及び期待される効果	施設の設置目的を効果的に達成するために具体的な事業計画が記載され、十分な効果が期待できる内容となっているか。		5

弘前市清水交流センター指定管理者候補者選定方法等一覧

(4)	施設の効率的な管理運営ができること		15
	① 施設の管理運営に係る経費の内容	人件費を含めて、施設の管理に係る経費の内容が具体的で、適正に見込まれているか。	10
	② 収支計画の内容、適格性及び実現の可能性	収入、支出の積算と事業計画の整合性は図られているか。収支計画の実現可能性はあるか。	5
(5)	施設の管理運営を適正かつ確実にを行う能力を有していること		20
	① 安定的な管理運営が可能となる人的能力	団体の組織体制が確立され、指揮命令系統及び責任の所在が明らかになっているか。 施設管理に係る職員の位置づけが明確にされているか。 常に1名以上の職員を配置する計画となっているか。 施設運営に配慮した人材の配置となっているか。 職員確保の方策は適切か。 職員の指導育成、研修体制は十分か。	10
	② 個人情報等の適正な取扱いの確保	個人情報等の適正な取り扱いの確保について具体的に記載しており、その実現性が高い内容になっているか。	5
	③ これまでの管理運営実績	これまでのセンターの管理運営実績について、どのような実績があるか。	5
合計			100

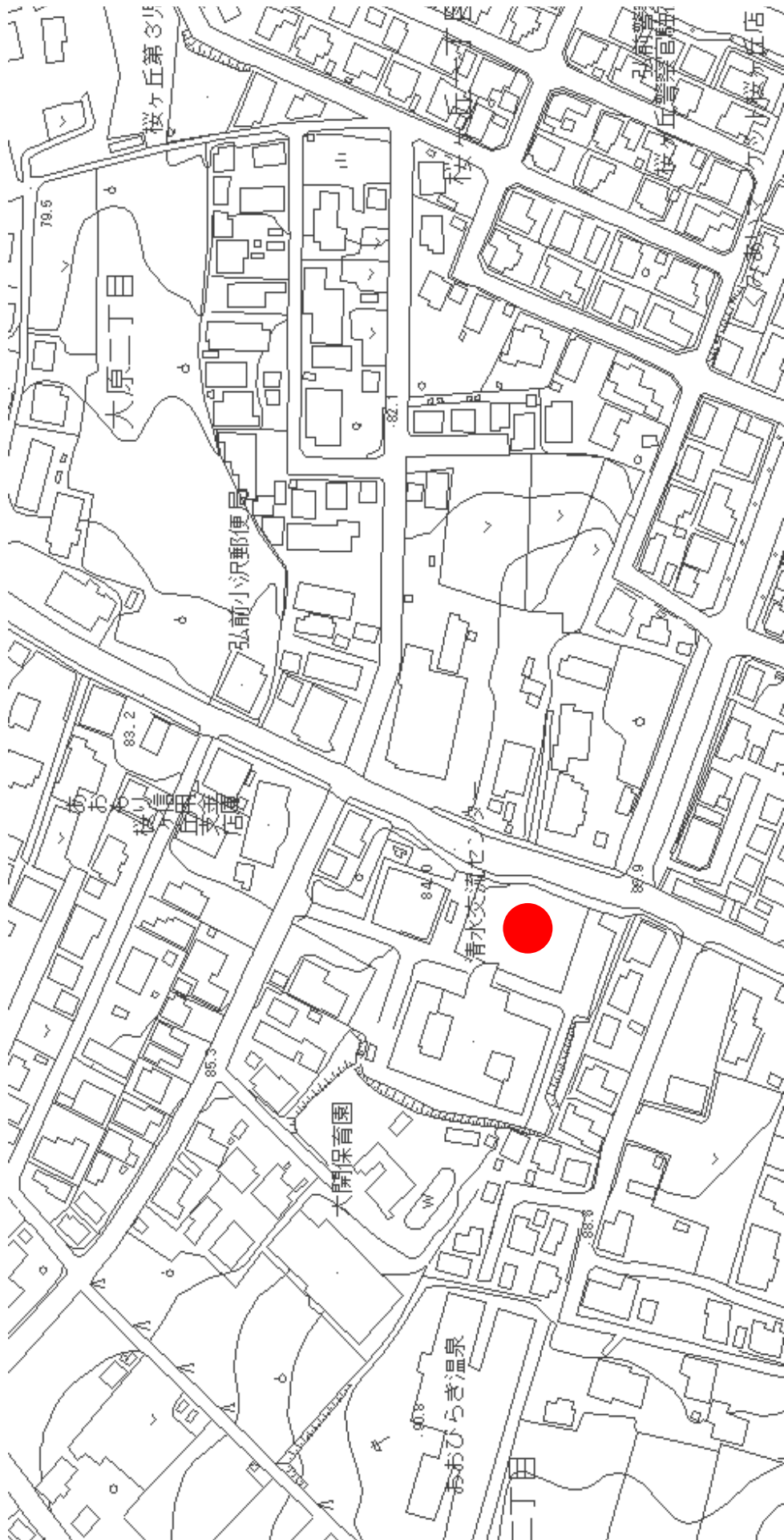
弘前市清水交流センター指定管理者候補者選定方法等一覧

6. 指定管理者の業務内容について				
項目	業務区分		説明	
	指定管理者	市		
1	維持管理に関する事業			
	(1)	建築物等保守管理業務		
		①	巡視及び異常時の連絡	○
		②	保守・点検(専門的)	○
		③	小額修繕(1件あたり10万円未満)	○
		④	中・大規模修繕	○
	(2)	機械・設備保守管理業務		○
	(3)	清掃業務		○
	(4)	植栽管理業務		○
	(5)	警備業務		
		①	人警備	○
		②	機械警備	○
	(6)	除雪業務		○
	(7)	備品関連業務		
		①	備品の管理	○
		②	備品の調達	○
		③	調達備品の保守・点検	○
2	使用の許可等に関する事		○	
3	使用料の収納業務に関する事		○	
4	施設で行う事業の実施に関する事			
	自主事業		○	
	期待する自主事業の内容		交流センターの設置目的を達成する事業であり、施設の周知、利用者の増加につながる事業	
新たに指定管理業務に追加する業務			特になし	
職員配置等の条件			①施設全体を統括できる能力を有する施設長を1名配置すること。(連絡が取れる体制であれば、常駐の必要はなし。) ②開館時間中は、特別の場合を除き、常に1名以上の職員を勤務させること。 ③職員の勤務形態は、労働関係法令を遵守し、センターの管理に支障がないように定めること。 ④職員に対して、施設の管理に必要な研修を実施すること。	
現在の職員配置体制			所長1名、事務員5名	
補足説明				

弘前市清水交流センター指定管理者候補者選定方法等一覧

7. 指定管理料の積算内訳			
	次年度収支予算(千円)	令和5年度収支予算(千円)	増減
指定管理業務に係る収入	9,193	9,075	118
利用料金	0	0	0
指定管理料	9,193	9,075	118
その他	0	0	0
指定管理業務に係る支出	9,193	9,075	118
人件費	8,707	8,682	25
事務費	365	308	57
管理費	85	35	50
その他	36	50	-14
増減の主な内容	<ul style="list-style-type: none"> ・一般職給料の増 ・消耗品費の増 ・施設修繕料の増 		

弘前市清水交流センター 資料





【写真1】外観



【写真2】内装①



【写真3】内装②

3 サンライフ弘前

指定管理者候補者選定方法等一覧

サンライフ弘前指定管理者候補者選定方法等一覧

担当部課名	市民生活部市民協働課
施設名称	サンライフ弘前
1. 施設の概要について	
設置の目的	世代間の交流事業や高齢者に対する生きがいづくりの事業を行い、その保健福祉の向上を図る。
施設所在地	弘前市大字豊田一丁目8番地1
開館日	平成15年4月 ※昭和57年1月雇用・能力開発機構が設置、平成15年4月市が譲渡を受けた
施設規模	延床面積 2,207㎡ 鉄筋コンクリート造 地上2階
施設内容	1階 体育室、調理実習室、トレーニング室、健康相談室、事務室ほか 2階 集会室、和室、研修室、伝承室ほか 共用部分 ロビー・ホール、下足コーナー、廊下、トイレほか 【付属施設】 駐車場 84台分、駐輪場 15台分
開館時間	9:00～21:00 休館日：毎月第4土曜日（祝日のときはその直後の日曜日）、年末年始
指定管理者制度の導入・更新時期	平成18年4月導入・平成22年4月更新・平成26年4月更新・平成31年4月更新
現在の指定管理者	「サンライフ弘前」管理運営委員会

サンライフ弘前指定管理者候補者選定方法等一覧

2. 現指定期間の実績・評価・課題等について							
項目	H30年度	H31・R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	評価	
成果指標 / 利用状況	指標	利用者数(単位:人)					<p>評価指標は、利用者数と利用件数を設定している。</p> <p>指定期間5年間のうち、令和元年度末から令和3年度まで、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、目標達成は困難であったと判断できる。</p> <p>両指標とも新型コロナウイルス感染症の影響がある年度は達成率が5割から6割であるが、令和4年度は、前年度比10%以上の増加率になったことは評価できる。</p>
	目標値	66,060	74,543	74,543	74,543	74,543	
	実績	60,589	56,649	45,749	43,294	51,351	
	達成度	92%	76%	61%	58%	69%	
		利用件数(単位:件)					
	目標値	2,760	2,558	2,558	2,652	2,652	
	実績	2,128	2,050	1,702	1,606	2,023	
達成度	77%	80%	67%	61%	76%		
指定管理者の収支状況	項目	H30年度	H31・R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	<p>例年、指定管理料内で施設運営を実施しており、適正な収支状況で施設運営に努めていると評価できる。</p>
	収支	38	4	6	142	2	
	収入(千円)	11,113	11,222	11,325	11,325	11,325	
	指定管理料	11,113	11,222	11,325	11,325	11,325	
	利用料金	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	0	
	支出(千円)	11,075	11,218	11,319	11,183	11,323	
	人件費	10,221	9,895	9,632	9,952	10,126	
	事務費	438	878	1,220	713	680	
	管理費	0	0	0	0	0	
その他	416	445	468	518	518		

サンライフ弘前指定管理者候補者選定方法等一覧

項目		内容				
管理運営業務	主な管理運営業務の内容	受付、使用許可業務、維持管理業務(施設・設備日常点検等)、自主事業の企画運営				
	結果	管理については利用者の安心安全を第一とし、故障や不具合の発生に対し速やかに対処した。運営については利用者ニーズを捉え、法令遵守しながら、公平な貸館とサービス提供に努めた。				
	評価	一般利用者へのアンケート調査や意見聴取を行うなど利用者ニーズ把握に努め、対応可能な場合は意見を反映させるなどサービス向上への意欲が高く、施設の管理運営全般的に適正であると評価できる。				
自主事業	事業計画の内容	地域住民との連携・協働により例年太極拳、ヨガ教室、初心者体力づくり教室を開催するなど、積極的に自主事業を実施している。				
	結果	新型コロナウイルス感染症の影響による中止もあったが、地域住民の世代間交流をはじめとした交流センターの設置目的を達成することができた。				
	評価	世代間の交流事業や高齢者に対する生きがいをづくりの事業を行い、その保健福祉の向上を図る効果があったと評価できる。				
評価課題を踏まえた、指定管理者の選定方法や施設の管理運営における課題		管理は適切だったと評価できるが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響もあり目標値を達成できない年度が多かった。地域住民をはじめ、より多くの世代間交流事業や高齢者への生きがいをづくり事業などを実施し、利用者の増加を図ることが課題である。				
評価課題を踏まえて、指定管理者の選定方法や施設の管理運営に反映した改善内容		まずは成果指標の数値を新型コロナウイルス感染症の感染拡大以前に回復することを目指し、平成28～30年度の3か年平均を目標値として設定した。また、コロナ禍においても評価しやすい成果指標として「施設全体の満足度」を追加した。				
3. 指定管理者に特に要請する事項						
<p>①利用促進 利用者の増加を図る効果的な事業提案により、成果指標である年間利用者・件数の増加を要請する。</p> <p>②市民サービス向上 利用者アンケートの要望等を管理方法に反映し、成果指標である利用者満足度の向上を要請する。</p> <p>③施設管理の徹底 市民が安全かつ快適に施設を利用できるよう、施設を適正に管理することを要請する。</p>						
4. 次期指定期間における成果指標について						
指標内容	年間利用者数(人)					
目標値	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	
	69,892	69,892	69,892	69,892	69,892	
指標内容	年間利用件数(件)					
目標値	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	
	2,415	2,415	2,415	2,415	2,415	
指標内容	アンケート満足度(%)					
目標値	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	
	90	90	90	90	90	

サンライフ弘前指定管理者候補者選定方法等一覧

5. 次期指定管理者の選定方法等について			
募集方法	非公募		
非公募とする団体	「サンライフ弘前」管理運営委員会		
非公募とする理由	サンライフ弘前は地域住民のコミュニティ活動の拠点となる施設であることから、地域の人材を積極的に活用することにより、施設の設置目的に沿った管理運営を行うことができるため。		
指定期間	令和6年4月1日～令和11年3月31日（5年）		
5年以外とする理由			
利用料金制の有無	導入しない		
応募要件			
グループ応募の可否			
事業所の範囲			
専門資格等の要否			
選定基準			
評価項目	評価の視点		配点
(1) 総合的事項			10
施設の設置目的及び市が示した管理運営の方針との適合性	設置目的を理解し、市が示した管理運営方針に沿った提案となっているか。		10
(2) 市民の平等な利用を確保することができること			5
平等な利用を図るための具体的手法及び期待される効果	関係法令等の遵守、利用者の平等な利用の確保、差別的な取り扱いをしないための具体的な手法が記載され、十分な効果が期待できる内容となっているか。		5
(3) 施設の設置目的を効果的に達成することができること			50
① 利用者の増加を図るための具体的手法及び期待される効果	利用者の増加を図るために、具体的な事業計画が記載され、十分な効果が期待できる内容となっているか。		15
② サービスの向上を図るための具体的手法及び期待される効果	利用者への基本的なサービス向上を図るものであるとともに、利用者等の要望や意見を日常的及び定期的に把握するための仕組みを整え、把握した要望等について管理に反映するための具体的な計画が記載され、その実現性が高いものとなっているか。		15
③ 施設の維持管理の内容、適格性及び実現の可能性	市民が快適に施設を使用できるよう、施設を適正に維持管理するとともに、常に効率的、効果的な管理に努めることができるよう、具体的な実施計画が記載され、その内容が的確で実現性の高い内容となっているか。		15
④ 自主事業の企画内容及び期待される効果	施設の設置目的を効果的に達成するために具体的な事業計画が記載され、十分な効果が期待できる内容となっているか。		5

サンライフ弘前指定管理者候補者選定方法等一覧

(4)	施設の効率的な管理運営ができること		15
	① 施設の管理運営に係る経費の内容	人件費を含めて、施設の管理に係る経費の内容が具体的で、適正に見込まれているか。	10
	② 収支計画の内容、適格性及び実現の可能性	収入、支出の積算と事業計画の整合性は図られているか。収支計画の実現可能性はあるか。	5
(5)	施設の管理運営を適正かつ確実にを行う能力を有していること		20
	① 安定的な管理運営が可能となる人的能力	団体の組織体制が確立され、指揮命令系統及び責任の所在が明らかになっているか。 施設管理に係る職員の位置づけが明確にされているか。 常に1名以上の職員を配置する計画となっているか。 施設運営に配慮した人材の配置となっているか。 職員確保の方策は適切か。 職員の指導育成、研修体制は十分か。	10
	② 個人情報等の適正な取扱いの確保	個人情報等の適正な取扱いの確保について具体的に記載しており、その実現性が高い内容になっているか。	5
	③ これまでの管理運営実績	これまでのセンターの管理運営実績について、どのような実績があるか。	5
合計			100

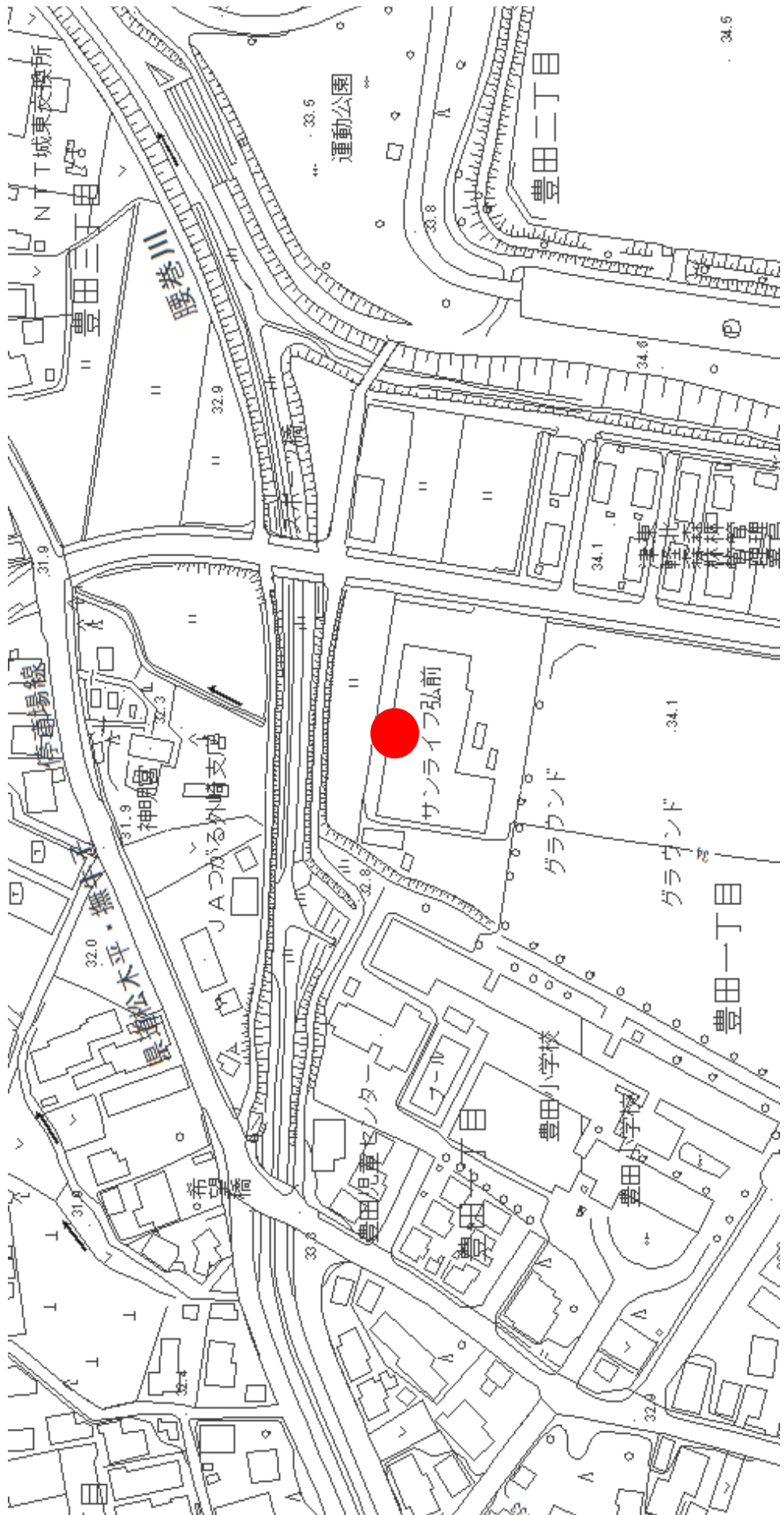
サンライフ弘前指定管理者候補者選定方法等一覧

6. 指定管理者の業務内容について				
項目	業務区分		説明	
	指定管理者	市		
1	維持管理に関する事業			
	(1)	建築物等保守管理業務		
		①	巡視及び異常時の連絡	○
		②	保守・点検(専門的)	○
		③	小額修繕(1件あたり10万円未満)	○
		④	中・大規模修繕	○
	(2)	機械・設備保守管理業務		○
	(3)	清掃業務		○
	(4)	植栽管理業務		○
	(5)	警備業務		
		①	人警備	○
		②	機械警備	○
	(6)	除雪業務		○
	(7)	備品関連業務		
		①	備品の管理	○
②		備品の調達	○	
③		調達備品の保守・点検	○	
2	使用の許可等に関すること		○	
3	使用料の収納業務に関すること		○	
4	施設で行う事業の実施に関すること			
	自主事業		○	
	期待する自主事業の内容		交流センターの設置目的を達成する事業であり、施設の周知、利用者の増加につながる事業	
新たに指定管理業務に追加する業務			特になし	
職員配置等の条件			①施設全体を統括できる能力を有する施設長を1名配置すること。(連絡が取れる体制であれば、常駐の必要はなし。) ②開館時間中は、特別の場合を除き、常に1名以上の職員を勤務させること。 ③職員の勤務形態は、労働関係法令を遵守し、センターの管理に支障がないように定めること。 ④職員に対して、施設の管理に必要な研修を実施すること。	
現在の職員配置体制			所長1名、事務員4名、非常勤職員1名	
補足説明				

サンライフ弘前指定管理者候補者選定方法等一覧

7. 指定管理料の積算内訳			
	次年度収支予算(千円)	令和5年度収支予算(千円)	増減
指定管理業務に係る収入	11,595	11,325	270
利用料金	0	0	0
指定管理料	11,595	11,325	270
その他	0	0	0
指定管理業務に係る支出	11,595	11,325	270
人件費	10,110	10,204	-94
事務費	902	566	336
管理費	70	0	70
その他	513	555	-42
増減の主な内容	<ul style="list-style-type: none"> ・一般職給料の減 ・消耗品費の増 ・施設修繕料の増 		

サンライフ弘前 資料





【写真1】外観



【写真2】内装①



【写真3】内装②

4 弘前市千年交流センター

指定管理者候補者選定方法等一覧

弘前市千年交流センター指定管理者候補者選定方法等一覧

担当部課名	市民生活部市民協働課
施設名称	弘前市千年交流センター
1. 施設の概要について	
設置の目的	世代間の交流事業や高齢者に対する生きがいづくりの事業を行い、その保健福祉の向上を図る。
施設所在地	弘前市大字原ヶ平五丁目1番地13
開館日	平成18年11月
施設規模	延床面積 1,317㎡ 鉄骨造 平屋建
施設内容	1階 体育室、研修室、世代交流室、和室、調理実習室、図書室、事務室ほか 共用部分 ロビー、下足コーナー、廊下、トイレほか 【付属施設】 駐車場 50台、駐輪場 30台
開館時間	9:00～21:00 休館日：月曜日（祝日のときはその翌日）、祝日（この日が月曜日または土曜日にあたる日を除く）の翌日、年末年始
指定管理者制度の導入・更新時期	平成18年4月導入・平成22年4月更新・平成26年4月更新・平成31年4月更新
現在の指定管理者	弘前市千年地区町会連合会

弘前市千年交流センター指定管理者候補者選定方法等一覧

2. 現指定期間の実績・評価・課題等について							
項目	H30年度	H31・R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	評価	
成果指標 / 利用状況	指標	利用者数(単位:人)					<p>評価指標は、利用者数と利用件数を設定している。</p> <p>指定期間5年間のうち、令和元年度末から令和3年度まで、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、目標達成は困難であったと判断できる。</p> <p>両指標とも新型コロナウイルス感染症の影響を受けているが、令和3年度以外は7割以上となっており、達成率100%以上の年度もあることは評価できる。</p>
	目標値	27,402	26,056	26,056	26,056	26,056	
	実績	26,049	26,669	18,739	13,679	20,675	
	達成度	95%	102%	72%	52%	79%	
		利用件数(単位:件)					
	目標値	2,115	2,286	2,286	2,286	2,286	
	実績	2,353	2,221	1,738	1,376	2,031	
達成度	111%	97%	76%	60%	89%		
指定管理者の収支状況	項目	H30年度	H31・R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	<p>例年、指定管理料内で施設運営を実施しており、適正な収支状況で施設運営に努めていると評価できる。</p>
	収支	48	40	58	58	18	
	収入(千円)	9,061	9,065	9,069	9,069	9,069	
	指定管理料	9,061	9,065	9,069	9,069	9,069	
	利用料金	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	0	
	支出(千円)	9,013	9,025	9,011	9,011	9,051	
	人件費	8,652	8,617	8,580	8,511	8,471	
	事務費	347	381	413	472	563	
	管理費	14	27	19	29	18	
その他	0	0	0	0	0		

弘前市千年交流センター指定管理者候補者選定方法等一覧

項目		内容				
管理運営業務	主な管理運営業務の内容	受付、使用許可業務、維持管理業務(施設・設備日常点検等)、自主事業の企画運営				
	結果	管理については利用者の安心安全を第一とし、故障や不具合の発生に対し速やかに対処した。運営については利用者ニーズを捉え、法令遵守しながら、公平な貸館とサービス提供に努めた。				
	評価	一般利用者へのアンケート調査や意見聴取を行うなど利用者ニーズ把握に努め、対応可能な場合は意見を反映させるなどサービス向上への意欲が高く、施設の管理運営全般的に適正であると評価できる。				
自主事業	事業計画の内容	新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため実施せず。				
	結果					
	評価					
評価課題を踏まえた、指定管理者の選定方法や施設の管理運営における課題		管理は適切だったと評価できるが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響もあり目標値を達成できない年度が多かった。地域住民をはじめ、より多くの世代間交流事業や高齢者への生きがいづくり事業などを実施し、利用者の増加を図ることが課題である。				
評価課題を踏まえて、指定管理者の選定方法や施設の管理運営に反映した改善内容		まずは成果指標の数値を新型コロナウイルス感染症の感染拡大以前に回復することを目指し、平成28～30年度の3か年平均を目標値として設定した。また、コロナ禍においても評価しやすい成果指標として「施設全体の満足度」を追加した。				
3. 指定管理者に特に要請する事項						
<p>①利用促進 利用者の増加を図る効果的な事業提案により、成果指標である年間利用者・件数の増加を要請する。</p> <p>②市民サービス向上 利用者アンケートの要望等を管理方法に反映し、成果指標である利用者満足度の向上を要請する。</p> <p>③施設管理の徹底 市民が安全かつ快適に施設を利用できるよう、施設を適正に管理することを要請する。</p>						
4. 次期指定期間における成果指標について						
指標内容	年間利用者数(人)					
目標値	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	
	26,054	26,054	26,054	26,054	26,054	
指標内容	年間利用件数(件)					
目標値	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	
	2,308	2,308	2,308	2,308	2,308	
指標内容	アンケート満足度(%)					
目標値	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	
	90	90	90	90	90	

弘前市千年交流センター指定管理者候補者選定方法等一覧

5. 次期指定管理者の選定方法等について			
募集方法		非公募	
非公募とする団体		弘前市千年地区町会連合会	
非公募とする理由		弘前市千年交流センターは地域住民のコミュニティ活動の拠点となる施設であることから、地域の人材を積極的に活用することにより、施設の設置目的に沿った管理運営を行うことができるため。	
指定期間		令和6年4月1日～令和11年3月31日(5年)	
5年以外とする理由			
利用料金制の有無		導入しない	
応募要件			
グループ応募の可否			
事業所の範囲			
専門資格等の要否			
選定基準			
評価項目		評価の視点	配点
(1)	総合的事項		10
	施設の設置目的及び市が示した管理運営の方針との適合性	設置目的を理解し、市が示した管理運営方針に沿った提案となっているか。	10
(2)	市民の平等な利用を確保することができること		5
	平等な利用を図るための具体的手法及び期待される効果	関係法令等の遵守、利用者の平等な利用の確保、差別的な取り扱いをしないための具体的な手法が記載され、十分な効果が期待できる内容となっているか。	5
(3)	施設の設置目的を効果的に達成することができること		50
	① 利用者の増加を図るための具体的手法及び期待される効果	利用者の増加を図るために、具体的な事業計画が記載され、十分な効果が期待できる内容となっているか。	15
	② サービスの向上を図るための具体的手法及び期待される効果	利用者への基本的なサービス向上を図るものであるとともに、利用者等の要望や意見を日常的及び定期的に把握するための仕組みを整え、把握した要望等について管理に反映するための具体的な計画が記載され、その実現性が高いものとなっているか。	15
	③ 施設の維持管理の内容、適格性及び実現の可能性	市民が快適に施設を使用できるよう、施設を適正に維持管理するとともに、常に効率的、効果的な管理に努めることができるよう、具体的な実施計画が記載され、その内容が的確で実現性の高い内容となっているか。	15
	④ 自主事業の企画内容及び期待される効果	施設の設置目的を効果的に達成するために具体的な事業計画が記載され、十分な効果が期待できる内容となっているか。	5

弘前市千年交流センター指定管理者候補者選定方法等一覧

(4)	施設の効率的な管理運営ができること		15
	① 施設の管理運営に係る経費の内容	人件費を含めて、施設の管理に係る経費の内容が具体的で、適正に見込まれているか。	10
	② 収支計画の内容、適格性及び実現の可能性	収入、支出の積算と事業計画の整合性は図られているか。収支計画の実現可能性はあるか。	5
(5)	施設の管理運営を適正かつ確実にを行う能力を有していること		20
	① 安定的な管理運営が可能となる人的能力	団体の組織体制が確立され、指揮命令系統及び責任の所在が明らかになっているか。 施設管理に係る職員の位置づけが明確にされているか。 常に1名以上の職員を配置する計画となっているか。 施設運営に配慮した人材の配置となっているか。 職員確保の方策は適切か。 職員の指導育成、研修体制は十分か。	10
	② 個人情報等の適正な取扱いの確保	個人情報等の適正な取り扱いの確保について具体的に記載しており、その実現性が高い内容になっているか。	5
	③ これまでの管理運営実績	これまでのセンターの管理運営実績について、どのような実績があるか。	5
合計			100

弘前市千年交流センター指定管理者候補者選定方法等一覧

6. 指定管理者の業務内容について				
項目	業務区分		説明	
	指定管理者	市		
1	維持管理に関する事業			
	(1)	建築物等保守管理業務		
		①	巡視及び異常時の連絡	○
		②	保守・点検(専門的)	○
		③	小額修繕(1件あたり10万円未満)	○
		④	中・大規模修繕	○
	(2)	機械・設備保守管理業務		○
	(3)	清掃業務		○
	(4)	植栽管理業務		○
	(5)	警備業務		
		①	人警備	○
		②	機械警備	○
	(6)	除雪業務		○
	(7)	備品関連業務		
		①	備品の管理	○
		②	備品の調達	○
		③	調達備品の保守・点検	○
2	使用の許可等に関すること		○	
3	使用料の収納業務に関すること		○	
4	施設で行う事業の実施に関すること			
	自主事業		○	
	期待する自主事業の内容		交流センターの設置目的を達成する事業であり、施設の周知、利用者の増加につながる事業	
新たに指定管理業務に追加する業務			特になし	
職員配置等の条件			①施設全体を統括できる能力を有する施設長を1名配置すること。(連絡が取れる体制であれば、常駐の必要はなし。) ②開館時間中は、特別の場合を除き、常に1名以上の職員を勤務させること。 ③職員の勤務形態は、労働関係法令を遵守し、センターの管理に支障がないように定めること。 ④職員に対して、施設の管理に必要な研修を実施すること。	
現在の職員配置体制			所長1名、事務員5名	
補足説明				

弘前市千年交流センター指定管理者候補者選定方法等一覧

7. 指定管理料の積算内訳			
	次年度収支予算(千円)	令和5年度収支予算(千円)	増減
指定管理業務に係る収入	9,235	9,069	166
利用料金	0	0	0
指定管理料	9,235	9,069	166
その他	0	0	0
指定管理業務に係る支出	9,235	9,069	166
人件費	8,717	8,691	26
事務費	387	295	92
管理費	95	33	62
その他	36	50	-14
増減の主な内容	<ul style="list-style-type: none"> ・一般職給料の増 ・消耗品費の増 ・施設修繕料の増 		

弘前市千年交流センター 資料



【写真1】外観



【写真2】内装①



【写真3】内装②

5 弘前市三省地区交流センター

指定管理者候補者選定方法等一覧

弘前市三省地区交流センター指定管理者候補者選定方法等一覧

担当部課名	市民生活部市民協働課
施設名称	弘前市三省地区交流センター
1. 施設の概要について	
設置の目的	世代間の交流事業や高齢者に対する生きがいづくりの事業を行い、その保健福祉の向上を図る。
施設所在地	弘前市大字三世寺字鳴瀬68番地3
開館日	平成20年5月
施設規模	延床面積 433㎡ 木造 平屋建
施設内容	1階 集会室、研修室、和室、事務室ほか 共用部分ロビー、玄関、トイレ、廊下ほか 【付属施設】 駐車場 31台
開館時間	9:00～21:00 休館日：月曜日（祝日のときはその翌日）、祝日（この日が月曜日または土曜日にあたる日を除く）の翌日、年末年始
指定管理者制度の導入・更新時期	平成18年4月導入・平成22年4月更新・平成26年4月更新・平成31年4月更新
現在の指定管理者	三省地区交流センター運営委員会

弘前市三省地区交流センター指定管理者候補者選定方法等一覧

2. 現指定期間の実績・評価・課題等について							
項目	H30年度	H31・R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	評価	
成果指標 / 利用状況	指標	利用者数(単位:人)					<p>評価指標は、利用者数と利用件数を設定している。</p> <p>指定期間5年間のうち、令和元年度末から令和3年度まで、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、目標達成は困難であったと判断できる。</p> <p>利用者数は令和2,3年度以外は達成率100%、利用件数は全ての年度で達成率100%であることは評価できる。</p>
	目標値	6,044	6,647	6,647	6,647	6,647	
	実績	6,943	6,902	5,815	5,286	6,838	
	達成度	115%	104%	87%	80%	103%	
		利用件数(単位:件)					
	目標値	396	592	592	592	592	
	実績	627	771	761	637	917	
達成度	158%	130%	129%	108%	155%		
指定管理者の収支状況	項目	H30年度	H31・R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	<p>例年、指定管理料内で施設運営を実施しており、適正な収支状況で施設運営に努めていると評価できる。</p>
	収支	14	9	11	28	13	
	収入(千円)	6,079	6,053	6,056	6,056	6,056	
	指定管理料	6,079	6,053	6,056	6,056	6,056	
	利用料金	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	0	
	支出(千円)	6,065	6,044	6,045	6,028	6,043	
	人件費	5,880	5,784	5,844	5,799	5,889	
	事務費	181	260	198	227	147	
	管理費	5	0	3	2	7	
その他	0	0	0	0	0		

弘前市三省地区交流センター指定管理者候補者選定方法等一覧

項目		内容
管理運営業務	主な管理運営業務の内容	受付、使用許可業務、維持管理業務(施設・設備日常点検等)、自主事業の企画運営
	結果	管理については利用者の安心安全を第一とし、故障や不具合の発生に対し速やかに対処した。運営については利用者ニーズを捉え、法令遵守しながら、公平な貸館とサービス提供に努めた。
	評価	一般利用者へのアンケート調査や意見聴取を行うなど利用者ニーズ把握に努め、対応可能な場合は意見を反映させるなどサービス向上への意欲が高く、施設の管理運営全般的に適正であると評価できる。
自主事業	事業計画の内容	地域住民との連携・協働によりいちご大福づくり、収穫感謝祭、地域ふれあいまつり、ヨガ教室を開催するなど、積極的に自主事業を実施している。
	結果	新型コロナウイルス感染症の影響による中止もあったが、地域住民の世代間交流をはじめとした交流センターの設置目的を達成することができた。
	評価	世代間の交流事業や地域住民の健康づくりに関する事業を行い、その保健福祉の向上を図る効果があったと評価できる。
評価課題を踏まえた、指定管理者の選定方法や施設の管理運営における課題		管理は適切だったと評価できるとともに、新型コロナウイルス感染症拡大の影響もあったが、多くの年度で目標値を達成することができた。今後も地域住民をはじめ、より多くの世代間交流事業や高齢者への生きがいづくり事業などを実施し、利用者の増加を図ることが課題である。
評価課題を踏まえて、指定管理者の選定方法や施設の管理運営に反映した改善内容		過去5年間に於いて、成果指標である利用者数、利用件数をほぼ達成していることから、成果指標の数値を令和4年度実績の1割増加した数値とした。また、コロナ禍においても評価しやすい成果指標として「施設全体の満足度」を追加した。

3. 指定管理者に特に要請する事項

- ①利用促進
利用者の増加を図る効果的な事業提案により、成果指標である年間利用者・件数の増加を要請する。
- ②市民サービス向上
利用者アンケートの要望等を管理方法に反映し、成果指標である利用者満足度の向上を要請する。
- ③施設管理の徹底
市民が安全かつ快適に施設を利用できるよう、施設を適正に管理することを要請する。

4. 次期指定期間における成果指標について

指標内容	年間利用者数(人)				
目標値	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度
	7,521	7,521	7,521	7,521	7,521
指標内容	年間利用件数(件)				
目標値	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度
	1,008	1,008	1,008	1,008	1,008
指標内容	アンケート満足度(%)				
目標値	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度
	90	90	90	90	90

弘前市三省地区交流センター指定管理者候補者選定方法等一覧

5. 次期指定管理者の選定方法等について			
募集方法	非公募		
非公募とする団体	三省地区交流センター運営委員会		
非公募とする理由	弘前市三省地区交流センターは地域住民のコミュニティ活動の拠点となる施設であることから、地域の人材を積極的に活用することにより、施設の設置目的に沿った管理運営を行うことができるため。		
指定期間	令和6年4月1日～令和11年3月31日(5年)		
5年以外とする理由			
利用料金制の有無	導入しない		
応募要件			
グループ応募の可否			
事業所の範囲			
専門資格等の要否			
選定基準			
評価項目	評価の視点		配点
(1) 総合的事項			10
施設の設置目的及び市が示した管理運営の方針との適合性	設置目的を理解し、市が示した管理運営方針に沿った提案となっているか。		10
(2) 市民の平等な利用を確保することができること			5
平等な利用を図るための具体的手法及び期待される効果	関係法令等の遵守、利用者の平等な利用の確保、差別的な取り扱いをしないための具体的な手法が記載され、十分な効果が期待できる内容となっているか。		5
(3) 施設の設置目的を効果的に達成することができること			50
① 利用者の増加を図るための具体的手法及び期待される効果	利用者の増加を図るために、具体的な事業計画が記載され、十分な効果が期待できる内容となっているか。		15
② サービスの向上を図るための具体的手法及び期待される効果	利用者への基本的なサービス向上を図るものであるとともに、利用者等の要望や意見を日常的及び定期的に把握するための仕組みを整え、把握した要望等について管理に反映するための具体的な計画が記載され、その実現性が高いものとなっているか。		15
③ 施設の維持管理の内容、適格性及び実現の可能性	市民が快適に施設を使用できるよう、施設を適正に維持管理するとともに、常に効率的、効果的な管理に努めることができるよう、具体的な実施計画が記載され、その内容が的確で実現性の高い内容となっているか。		15
④ 自主事業の企画内容及び期待される効果	施設の設置目的を効果的に達成するために具体的な事業計画が記載され、十分な効果が期待できる内容となっているか。		5

弘前市三省地区交流センター指定管理者候補者選定方法等一覧

(4)	施設の効率的な管理運営ができること		15
	① 施設の管理運営に係る経費の内容	人件費を含めて、施設の管理に係る経費の内容が具体的で、適正に見込まれているか。	10
	② 収支計画の内容、適格性及び実現の可能性	収入、支出の積算と事業計画の整合性は図られているか。収支計画の実現可能性はあるか。	5
(5)	施設の管理運営を適正かつ確実にを行う能力を有していること		20
	① 安定的な管理運営が可能となる人的能力	団体の組織体制が確立され、指揮命令系統及び責任の所在が明らかになっているか。 施設管理に係る職員の位置づけが明確にされているか。 常に1名以上の職員を配置する計画となっているか。 施設運営に配慮した人材の配置となっているか。 職員確保の方策は適切か。 職員の指導育成、研修体制は十分か。	10
	② 個人情報等の適正な取扱いの確保	個人情報等の適正な取扱いの確保について具体的に記載しており、その実現性が高い内容になっているか。	5
	③ これまでの管理運営実績	これまでのセンターの管理運営実績について、どのような実績があるか。	5
合計			100

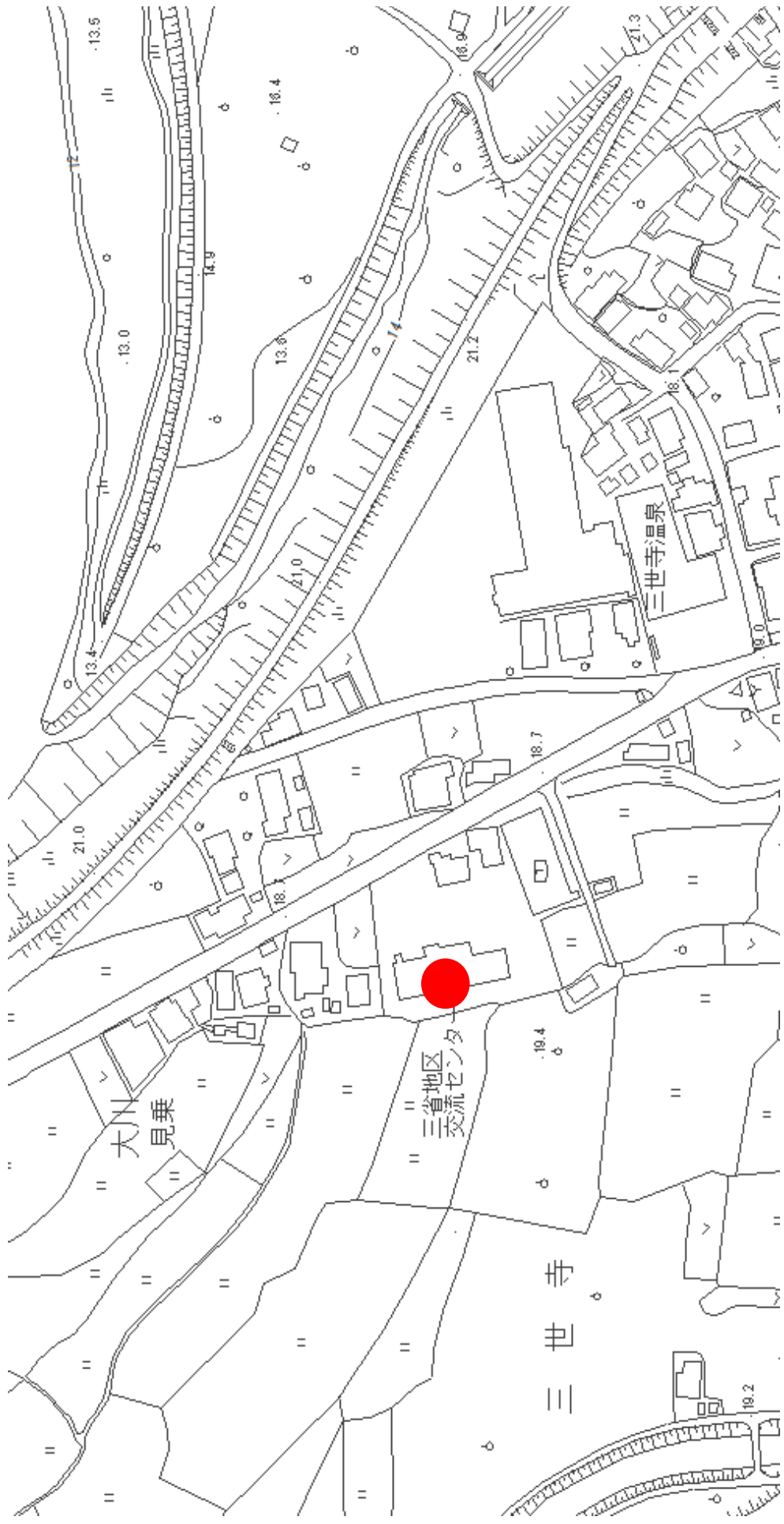
弘前市三省地区交流センター指定管理者候補者選定方法等一覧

6. 指定管理者の業務内容について				
項目	業務区分		説明	
	指定管理者	市		
1	維持管理に関する事業			
	(1)	建築物等保守管理業務		
		①	巡視及び異常時の連絡	○
		②	保守・点検(専門的)	○
		③	小額修繕(1件あたり10万円未満)	○
	(2)	中・大規模修繕		○
	(2)	機械・設備保守管理業務		○
	(3)	清掃業務		○
	(4)	植栽管理業務		○
	(5)	警備業務		
		①	人警備	○
		②	機械警備	○
	(6)	除雪業務		○
	(7)	備品関連業務		
		①	備品の管理	○
		②	備品の調達	○
		③	調達備品の保守・点検	○
2	使用の許可等に関すること		○	
3	使用料の収納業務に関すること		○	
4	施設で行う事業の実施に関すること			
	自主事業		○	
	期待する自主事業の内容		交流センターの設置目的を達成する事業であり、施設の周知、利用者の増加につながる事業	
新たに指定管理業務に追加する業務			特になし	
職員配置等の条件			①施設全体を統括できる能力を有する施設長を1名配置すること。(連絡が取れる体制であれば、常駐の必要はなし。) ②開館時間中は、特別の場合を除き、常に1名以上の職員を勤務させること。 ③職員の勤務形態は、労働関係法令を遵守し、センターの管理に支障がないように定めること。 ④職員に対して、施設の管理に必要な研修を実施すること。	
現在の職員配置体制			所長1名、事務員2名	
補足説明				

弘前市三省地区交流センター指定管理者候補者選定方法等一覧

7. 指定管理料の積算内訳			
	次年度収支予算(千円)	令和5年度収支予算(千円)	増減
指定管理業務に係る収入	6,154	6,056	98
利用料金	0	0	0
指定管理料	6,154	6,056	98
その他	0	0	0
指定管理業務に係る支出	6,154	6,056	98
人件費	5,852	5,889	-37
事務費	208	135	73
管理費	72	10	62
その他	22	22	0
増減の主な内容	<ul style="list-style-type: none"> ・一般職給料の減 ・消耗品費の増 ・施設修繕料の増 		

弘前市三省地区交流センター
資 料





【写真1】外観



【写真2】内装①



【写真3】内装②

6 弘前市町田地区ふれあいセンター

指定管理者候補者選定方法等一覧

弘前市町田地区ふれあいセンター指定管理者候補者選定方法等一覧

担当部課名	市民生活部市民協働課
施設名称	弘前市町田地区ふれあいセンター
1. 施設の概要について	
設置の目的	世代間の交流事業や高齢者に対する生きがいづくりの事業を行い、その保健福祉の向上を図る。
施設所在地	弘前市大字町田一丁目4番地1
開館日	平成17年5月
施設規模	延床面積 960㎡ 鉄骨造 平屋建
施設内容	1階 集会室、体育室、和室、浴室、事務室ほか 共用部分 休憩コーナー、下足コーナー、廊下、トイレほか 【付属施設】 駐車場 42台分、駐輪場 10台
開館時間	9:00～21:00 休館日：月曜日（祝日のときはその翌日）、祝日（この日が月曜日または土曜日にあたる日を除く）の翌日、年末年始
指定管理者制度の導入・更新時期	平成18年4月導入・平成22年4月更新・平成26年4月更新・平成31年4月更新
現在の指定管理者	町田地区ふれあいセンター運営委員会

弘前市町田地区ふれあいセンター指定管理者候補者選定方法等一覧

2. 現指定期間の実績・評価・課題等について							
項目	H30年度	H31・R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	評価	
成果指標 / 利用状況	指標	利用者数(単位:人)					<p>評価指標は、利用者数と利用件数を設定している。</p> <p>指定期間5年間のうち、令和元年度末から令和3年度まで、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、目標達成は困難であったと判断できる。</p> <p>両指標とも新型コロナウイルス感染症の影響を受けているが、利用者数は令和3年度以外は7割以上、利用件数は、達成率100%以上が3年あることは評価できる。</p>
	目標値	35,541	34,686	34,686	34,686	34,686	
	実績	29,284	33,199	27,016	20,090	26,717	
	達成度	82%	96%	78%	58%	77%	
		利用件数(単位:件)					
	目標値	603	685	685	685	685	
	実績	708	704	609	476	803	
達成度	117%	103%	89%	69%	117%		
指定管理者の収支状況	項目	H30年度	H31・R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	<p>例年、指定管理料内で施設運営を実施しており、適正な収支状況で施設運営に努めていると評価できる。</p>
	収支	17	60	136	403	213	
	収入(千円)	6,924	6,904	6,907	6,907	6,907	
	指定管理料	6,924	6,904	6,907	6,907	6,907	
	利用料金	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	0	
	支出(千円)	6,907	6,844	6,771	6,504	6,694	
	人件費	6,676	6,594	6,521	6,225	6,480	
	事務費	231	231	217	275	203	
	管理費	0	20	34	3	12	
その他	0	0	0	0	0		

弘前市町田地区ふれあいセンター指定管理者候補者選定方法等一覧

項目		内容
管理運営業務	主な管理運営業務の内容	受付、使用許可業務、維持管理業務(施設・設備日常点検等)、自主事業の企画運営
	結果	管理については利用者の安心安全を第一とし、故障や不具合の発生に対し速やかに対処した。運営については利用者ニーズを捉え、法令遵守しながら、公平な貸館とサービス提供に努めた。
	評価	一般利用者へのアンケート調査や意見聴取を行うなど利用者ニーズ把握に努め、対応可能な場合は意見を反映させるなどサービス向上への意欲が高く、施設の管理運営全般的に適正であると評価できる。
自主事業	事業計画の内容	地域住民との連携・協働によりヨガ教室、料理教室のほか、生涯学習のための教室を開催するなど、積極的に自主事業を実施している。
	結果	新型コロナウイルス感染症の影響による中止もあったが、地域住民の世代間交流をはじめとした交流センターの設置目的を達成することができた。
	評価	世代間の交流事業や生涯学習に関する事業を行い、その保健福祉の向上を図る効果があったと評価できる。
評価課題を踏まえた、指定管理者の選定方法や施設の管理運営における課題		管理は適切だったと評価できるが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響もあり目標値を達成できない年度が多かった。地域住民をはじめ、より多くの世代間交流事業や高齢者への生きがいづくり事業などを実施し、利用者の増加を図ることが課題である。
評価課題を踏まえて、指定管理者の選定方法や施設の管理運営に反映した改善内容		まずは成果指標の数値を新型コロナウイルス感染症の感染拡大以前に回復することを目指し、平成28～30年度の3か年平均を目標値として設定した(なお、年間利用件数については、令和4年度実績が平成28年度から平成30年度の平均を既に超えているため、令和4年度実績を1割増加した数値を指標とした)。また、コロナ禍においても評価しやすい成果指標として「施設全体の満足度」を追加した。

3. 指定管理者に特に要請する事項

①利用促進

利用者の増加を図る効果的な事業提案により、成果指標である年間利用者・件数の増加を要請する。

②市民サービス向上

利用者アンケートの要望等を管理方法に反映し、成果指標である利用者満足度の向上を要請する。

③施設管理の徹底

市民が安全かつ快適に施設を利用できるよう、施設を適正に管理することを要請する。

4. 次期指定期間における成果指標について

指標内容	年間利用者数(人)				
目標値	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度
	32,885	32,885	32,885	32,885	32,885
指標内容	年間利用件数(件)				
目標値	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度
	883	883	883	883	883
指標内容	アンケート満足度(%)				
目標値	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度
	90	90	90	90	90

弘前市町田地区ふれあいセンター指定管理者候補者選定方法等一覧

5. 次期指定管理者の選定方法等について				
募集方法		非公募		
非公募とする団体		町田地区ふれあいセンター運営委員会		
非公募とする理由		弘前市町田地区ふれあいセンターは地域住民のコミュニティ活動の拠点となる施設であることから、地域の人材を積極的に活用することにより、施設の設置目的に沿った管理運営を行うことができるため。		
指定期間		令和6年4月1日～令和11年3月31日(5年)		
5年以外とする理由				
利用料金制の有無		導入しない		
応募要件				
グループ応募の可否				
事業所の範囲				
専門資格等の要否				
選定基準				
評価項目		評価の視点		配点
(1)	総合的事項			10
	施設の設置目的及び市が示した管理運営の方針との適合性	設置目的を理解し、市が示した管理運営方針に沿った提案となっているか。		10
(2)	市民の平等な利用を確保することができること			5
	平等な利用を図るための具体的手法及び期待される効果	関係法令等の遵守、利用者の平等な利用の確保、差別的な取り扱いをしないための具体的な手法が記載され、十分な効果が期待できる内容となっているか。		5
(3)	施設の設置目的を効果的に達成することができること			50
	① 利用者の増加を図るための具体的手法及び期待される効果	利用者の増加を図るために、具体的な事業計画が記載され、十分な効果が期待できる内容となっているか。		15
	② サービスの向上を図るための具体的手法及び期待される効果	利用者への基本的なサービス向上を図るものであるとともに、利用者等の要望や意見を日常的及び定期的に把握するための仕組みを整え、把握した要望等について管理に反映するための具体的な計画が記載され、その実現性が高いものとなっているか。		15
	③ 施設の維持管理の内容、適格性及び実現の可能性	市民が快適に施設を使用できるよう、施設を適正に維持管理するとともに、常に効率的、効果的な管理に努めることができるよう、具体的な実施計画が記載され、その内容が的確で実現性の高い内容となっているか。		15
	④ 自主事業の企画内容及び期待される効果	施設の設置目的を効果的に達成するために具体的な事業計画が記載され、十分な効果が期待できる内容となっているか。		5

弘前市町田地区ふれあいセンター指定管理者候補者選定方法等一覧

(4)	施設の効率的な管理運営ができること		15
	① 施設の管理運営に係る経費の内容	人件費を含めて、施設の管理に係る経費の内容が具体的で、適正に見込まれているか。	10
	② 収支計画の内容、適格性及び実現の可能性	収入、支出の積算と事業計画の整合性は図られているか。収支計画の実現可能性はあるか。	5
(5)	施設の管理運営を適正かつ確実にを行う能力を有していること		20
	① 安定的な管理運営が可能となる人的能力	団体の組織体制が確立され、指揮命令系統及び責任の所在が明らかになっているか。 施設管理に係る職員の位置づけが明確にされているか。 常に1名以上の職員を配置する計画となっているか。 施設運営に配慮した人材の配置となっているか。 職員確保の方策は適切か。 職員の指導育成、研修体制は十分か。	10
	② 個人情報等の適正な取扱いの確保	個人情報等の適正な取り扱いの確保について具体的に記載しており、その実現性が高い内容になっているか。	5
	③ これまでの管理運営実績	これまでのセンターの管理運営実績について、どのような実績があるか。	5
合計			100

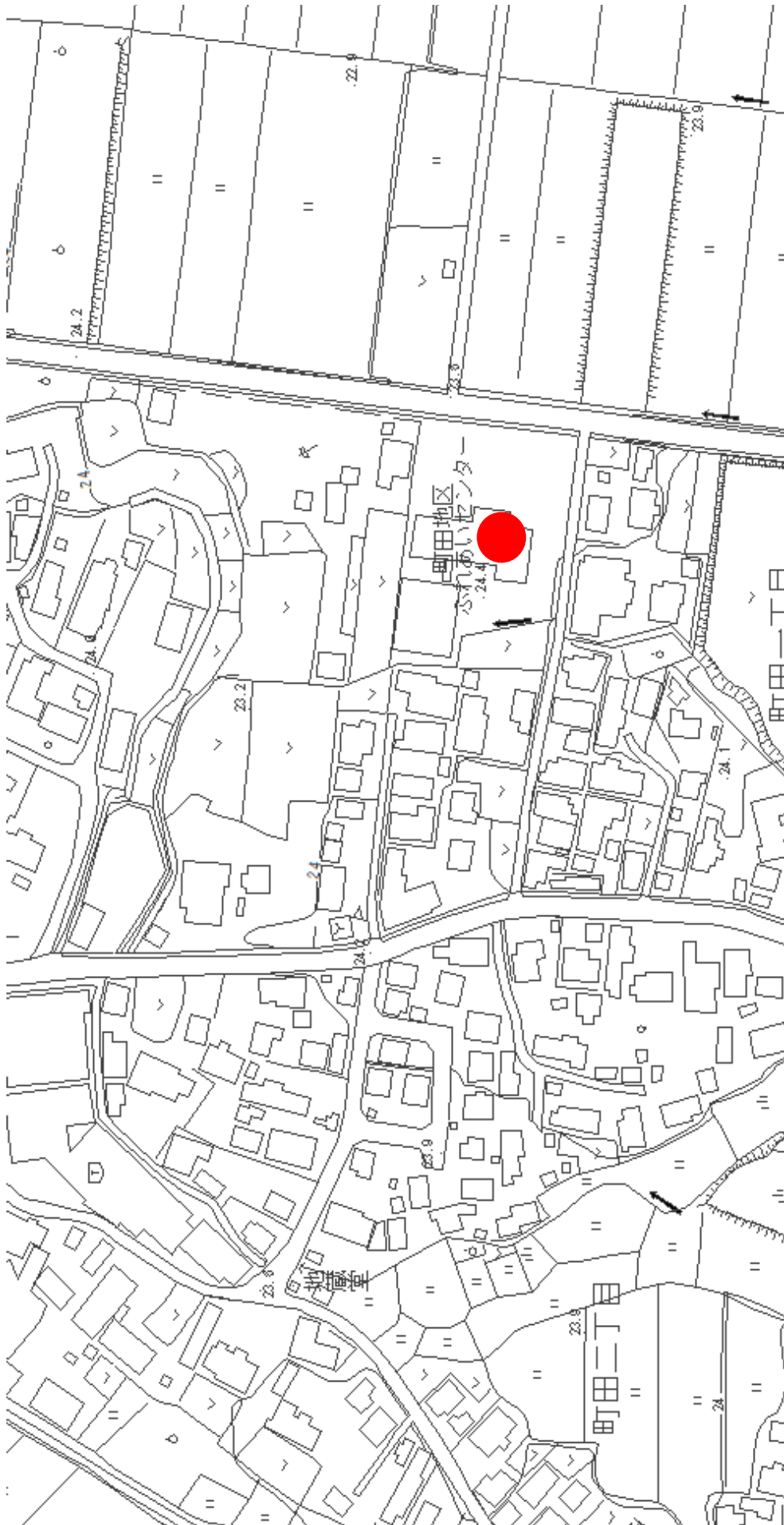
弘前市町田地区ふれあいセンター指定管理者候補者選定方法等一覧

6. 指定管理者の業務内容について				
項目	業務区分		説明	
	指定管理者	市		
1	維持管理に関する事業			
	(1)	建築物等保守管理業務		
		①	巡視及び異常時の連絡	○
		②	保守・点検(専門的)	○
		③	小額修繕(1件あたり10万円未満)	○
		④	中・大規模修繕	○
	(2)	機械・設備保守管理業務		○
	(3)	清掃業務		○
	(4)	植栽管理業務		○
	(5)	警備業務		
		①	人警備	○
		②	機械警備	○
	(6)	除雪業務		○
	(7)	備品関連業務		
		①	備品の管理	○
		②	備品の調達	○
	③	調達備品の保守・点検	○	
2	使用の許可等に関する事		○	
3	使用料の収納業務に関する事		○	
4	施設で行う事業の実施に関する事			
		自主事業	○	
	期待する自主事業の内容		交流センターの設置目的を達成する事業であり、施設の周知、利用者の増加につながる事業	
新たに指定管理業務に追加する業務			特になし	
職員配置等の条件			①施設全体を統括できる能力を有する施設長を1名配置すること。(連絡が取れる体制であれば、常駐の必要はなし。) ②開館時間中は、特別の場合を除き、常に1名以上の職員を勤務させること。 ③職員の勤務形態は、労働関係法令を遵守し、センターの管理に支障がないように定めること。 ④職員に対して、施設の管理に必要な研修を実施すること。	
現在の職員配置体制			所長1名、事務員3名	
補足説明				

弘前市町田地区ふれあいセンター指定管理者候補者選定方法等一覧

7. 指定管理料の積算内訳			
	次年度収支予算(千円)	令和5年度収支予算(千円)	増減
指定管理業務に係る収入	7,339	6,907	432
利用料金	0	0	0
指定管理料	7,339	6,907	432
その他	0	0	0
指定管理業務に係る支出	7,339	6,907	432
人件費	7,037	6,671	366
事務費	183	170	13
管理費	90	31	59
その他	29	35	-6
増減の主な内容	<ul style="list-style-type: none"> ・一般職給料の増 ・消耗品費の増 ・施設修繕料の増 		

弘前市町田地区ふれあいセンター 資料





【写真1】外観



【写真2】内装①



【写真3】内装②

7 裾野地区体育文化交流センター

指定管理者候補者選定方法等一覧

裾野地区体育文化交流センター指定管理者候補者選定方法等一覧

担当部課名	市民生活部市民協働課
施設名称	裾野地区体育文化交流センター
1. 施設の概要について	
設置の目的	世代間の交流事業や高齢者に対する生きがいづくりの事業を行い、その保健福祉の向上を図る。
施設所在地	弘前市大字十面沢字轡8番地9
開館日	平成15年11月
施設規模	延床面積 1,528㎡ 木造(体育室は鉄骨造) 平屋建
施設内容	【施設内容】 1階 体育室、和室、調理実習室、体験学習室、陶芸室、茶室、事務室ほか 共用部分 ロビー・ホール、下足コーナー、廊下、トイレほか 【付属施設】 駐車場 47台分、駐輪場 20台
開館時間	9:00～21:00 休館日：月曜日(祝日のときはその翌日)、年末年始
指定管理者制度の導入・更新時期	平成18年4月導入・平成22年4月更新・平成26年4月更新・平成31年4月更新
現在の指定管理者	裾野地区町会連合会

裾野地区体育文化交流センター指定管理者候補者選定方法等一覧

2. 現指定期間の実績・評価・課題等について							
項目	H30年度	H31・R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	評価	
成果指標 / 利用状況	指標	利用者数(単位:人)					<p>評価指標は、利用者数と利用件数を設定している。</p> <p>指定期間5年間のうち、令和元年度末から令和3年度まで、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、目標達成は困難であったと判断できる。</p> <p>両指標とも新型コロナウイルス感染症の影響を受けているが、利用者数は達成率100%以上が2年、利用件数は3年あることは評価できる。</p>
	目標値	14,007	8,918	8,918	8,918	8,918	
	実績	10,255	9,829	9,511	6,163	7,163	
	達成度	73%	110%	107%	69%	80%	
		利用件数(単位:件)					
	目標値	670	459	459	459	459	
	実績	509	529	523	364	535	
達成度	76%	115%	114%	79%	117%		
指定管理者の収支状況	項目	H30年度	H31・R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	<p>例年、指定管理料内で施設運営を実施しており、適正な収支状況で施設運営に努めていると評価できる。</p>
	収支	144	199	159	135	7	
	収入(千円)	6,624	6,600	6,606	6,606	6,606	
	指定管理料	6,624	6,600	6,606	6,606	6,606	
	利用料金	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	0	
	支出(千円)	6,480	6,401	6,447	6,471	6,599	
	人件費	5,981	5,984	5,906	5,986	6,004	
	事務費	298	194	295	327	411	
	管理費	201	224	246	157	184	
その他	0	0	0	0	0		

裾野地区体育文化交流センター指定管理者候補者選定方法等一覧

項目		内容				
管理運営業務	主な管理運営業務の内容	受付、使用許可業務、維持管理業務(施設・設備日常点検等)、自主事業の企画運営				
	結果	管理については利用者の安心安全を第一とし、故障や不具合の発生に対し速やかに対処した。運営については利用者ニーズを捉え、法令遵守しながら、公平な貸館とサービス提供に努めた。				
	評価	一般利用者へのアンケート調査や意見聴取を行うなど利用者ニーズ把握に努め、対応可能な場合は意見を反映させるなどサービス向上への意欲が高く、施設の管理運営全般的に適正であると評価できる。				
自主事業	事業計画の内容	地域住民との連携・協働によりお菓子作りや、児童の健全育成に関するお楽しみ会を開催するなど、積極的に自主事業を実施している。				
	結果	新型コロナウイルス感染症の影響による中止もあったが、児童の健全育成をはじめとした交流センターの設置目的を達成することができた。				
	評価	児童の健全育成に関する事業を行い、その保健福祉の向上を図る効果があったと評価できる。				
評価課題を踏まえた、指定管理者の選定方法や施設の管理運営における課題		管理は適切だったと評価できるが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響もあり目標値を達成できない年度が多かった。地域住民をはじめ、より多くの世代間交流事業や高齢者への生きがいづくり事業などを実施し、利用者の増加を図ることが課題である。				
評価課題を踏まえて、指定管理者の選定方法や施設の管理運営に反映した改善内容		まずは成果指標の数値を新型コロナウイルス感染症の感染拡大以前に回復することを目指し、平成28～30年度の3か年平均を目標値として設定した(なお、年間利用件数については、令和4年度実績が平成28年度から平成30年度の平均を既に超えているため、令和4年度実績を1割増加した数値を指標とした)。また、コロナ禍においても評価しやすい成果指標として「施設全体の満足度」を追加した。				
3. 指定管理者に特に要請する事項						
<p>①利用促進 利用者の増加を図る効果的な事業提案により、成果指標である年間利用者・件数の増加を要請する。</p> <p>②市民サービス向上 利用者アンケートの要望等を管理方法に反映し、成果指標である利用者満足度の向上を要請する。</p> <p>③施設管理の徹底 市民が安全かつ快適に施設を利用できるよう、施設を適正に管理することを要請する。</p>						
4. 次期指定期間における成果指標について						
指標内容	年間利用者数(人)					
目標値	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	
	9,363	9,363	9,363	9,363	9,363	
指標内容	年間利用件数(件)					
目標値	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	
	588	588	588	588	588	
指標内容	アンケート満足度(%)					
目標値	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	
	90	90	90	90	90	

裾野地区体育文化交流センター指定管理者候補者選定方法等一覧

5. 次期指定管理者の選定方法等について			
募集方法		非公募	
非公募とする団体		裾野地区町会連合会	
非公募とする理由		裾野地区体育文化交流センターは地域住民のコミュニティ活動の拠点となる施設であることから、地域の人材を積極的に活用することにより、施設の設置目的に沿った管理運営を行うことができるため。	
指定期間		令和6年4月1日～令和11年3月31日(5年)	
5年以外とする理由			
利用料金制の有無		導入しない	
応募要件			
グループ応募の可否			
事業所の範囲			
専門資格等の要否			
選定基準			
評価項目		評価の視点	配点
(1)	総合的事項		10
	施設の設置目的及び市が示した管理運営の方針との適合性	設置目的を理解し、市が示した管理運営方針に沿った提案となっているか。	10
(2)	市民の平等な利用を確保することができること		5
	平等な利用を図るための具体的手法及び期待される効果	関係法令等の遵守、利用者の平等な利用の確保、差別的な取り扱いをしないための具体的な手法が記載され、十分な効果が期待できる内容となっているか。	5
(3)	施設の設置目的を効果的に達成することができること		50
	① 利用者の増加を図るための具体的手法及び期待される効果	利用者の増加を図るために、具体的な事業計画が記載され、十分な効果が期待できる内容となっているか。	15
	② サービスの向上を図るための具体的手法及び期待される効果	利用者への基本的なサービス向上を図るものであるとともに、利用者等の要望や意見を日常的及び定期的に把握するための仕組みを整え、把握した要望等について管理に反映するための具体的な計画が記載され、その実現性が高いものとなっているか。	15
	③ 施設の維持管理の内容、適格性及び実現の可能性	市民が快適に施設を使用できるよう、施設を適正に維持管理するとともに、常に効率的、効果的な管理に努めることができるよう、具体的な実施計画が記載され、その内容が的確で実現性の高い内容となっているか。	15
	④ 自主事業の企画内容及び期待される効果	施設の設置目的を効果的に達成するために具体的な事業計画が記載され、十分な効果が期待できる内容となっているか。	5

裾野地区体育文化交流センター指定管理者候補者選定方法等一覧

(4)	施設の効率的な管理運営ができること		15
	① 施設の管理運営に係る経費の内容	人件費を含めて、施設の管理に係る経費の内容が具体的で、適正に見込まれているか。	10
	② 収支計画の内容、適格性及び実現の可能性	収入、支出の積算と事業計画の整合性は図られているか。収支計画の実現可能性はあるか。	5
(5)	施設の管理運営を適正かつ確実にを行う能力を有していること		20
	① 安定的な管理運営が可能となる人的能力	団体の組織体制が確立され、指揮命令系統及び責任の所在が明らかになっているか。 施設管理に係る職員の位置づけが明確にされているか。 常に1名以上の職員を配置する計画となっているか。 施設運営に配慮した人材の配置となっているか。 職員確保の方策は適切か。 職員の指導育成、研修体制は十分か。	10
	② 個人情報等の適正な取扱いの確保	個人情報等の適正な取扱いの確保について具体的に記載しており、その実現性が高い内容になっているか。	5
	③ これまでの管理運営実績	これまでのセンターの管理運営実績について、どのような実績があるか。	5
合計			100

裾野地区体育文化交流センター指定管理者候補者選定方法等一覧

6. 指定管理者の業務内容について				
項目	業務区分		説明	
	指定管理者	市		
1	維持管理に関する事業			
	(1)	建築物等保守管理業務		
		①	巡視及び異常時の連絡	○
		②	保守・点検(専門的)	○
		③	小額修繕(1件あたり10万円未満)	○
		④	中・大規模修繕	○
	(2)	機械・設備保守管理業務		○
	(3)	清掃業務		○
	(4)	植栽管理業務		○
	(5)	警備業務		
		①	人警備	○
		②	機械警備	○
	(6)	除雪業務		○
	(7)	備品関連業務		
		①	備品の管理	○
		②	備品の調達	○
		③	調達備品の保守・点検	○
2	使用の許可等に関すること		○	
3	使用料の収納業務に関すること		○	
4	施設で行う事業の実施に関すること			
	自主事業		○	
	期待する自主事業の内容		交流センターの設置目的を達成する事業であり、施設の周知、利用者の増加につながる事業	
新たに指定管理業務に追加する業務			特になし	
職員配置等の条件			①施設全体を統括できる能力を有する施設長を1名配置すること。(連絡が取れる体制であれば、常駐の必要はなし。) ②開館時間中は、特別の場合を除き、常に1名以上の職員を勤務させること。 ③職員の勤務形態は、労働関係法令を遵守し、センターの管理に支障がないように定めること。 ④職員に対して、施設の管理に必要な研修を実施すること。	
現在の職員配置体制			所長1名、事務員2名	
補足説明				

裾野地区体育文化交流センター指定管理者候補者選定方法等一覧

7. 指定管理料の積算内訳			
	次年度収支予算(千円)	令和5年度収支予算(千円)	増減
指定管理業務に係る収入	6,575	6,606	-31
利用料金	0	0	0
指定管理料	6,575	6,606	-31
その他	0	0	0
指定管理業務に係る支出	6,575	6,606	-31
人件費	6,021	6,080	-59
事務費	252	261	-9
管理費	280	250	30
その他	22	15	7
増減の主な内容	<ul style="list-style-type: none"> ・賃金の減 ・消耗品費の減 ・施設修繕料の増 		

裾野地区体育文化交流センター 資料





【写真1】外観



【写真2】内装①



【写真3】内装②

8 新和地区体育文化交流センター

指定管理者候補者選定方法等一覧

新和地区体育文化交流センター指定管理者候補者選定方法等一覧

担当部課名	市民生活部市民協働課
施設名称	新和地区体育文化交流センター
1. 施設の概要について	
設置の目的	世代間の交流事業や高齢者に対する生きがいづくりの事業を行い、その保健福祉の向上を図る。
施設所在地	弘前市大字種市字木幡387番地
開館日	平成8年10月
施設規模	延床面積 1,213㎡ 鉄骨造 平屋建
施設内容	1階 体育室、生涯学習室、調理実習室、郷土芸能習得室、会議室、事務室ほか 共用部分 ロビー・ホール、下足コーナー、廊下、トイレほか 【付属施設】 駐車場 41台分、駐輪場 20台
開館時間	9:00～21:00 休館日：月曜日（祝日のときはその翌日）、年末年始
指定管理者制度の導入・更新時期	平成18年4月導入・平成22年4月更新・平成26年4月更新・平成31年4月更新
現在の指定管理者	新和地区町会連合会

新和地区体育文化交流センター指定管理者候補者選定方法等一覧

2. 現指定期間の実績・評価・課題等について							
項目	H30年度	H31・R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	評価	
成果指標 / 利用状況	指標	利用者数(単位:人)					評価指標は、利用者数と利用件数を設定している。 指定期間5年間のうち、令和元年度末から令和3年度まで、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、目標達成は困難であったと判断できる。 両指標とも新型コロナウイルス感染症の影響を受けているが、利用者数は令和3年度以外は7割以上、達成率100%以上が2年あり、利用件数は、令和3年度以外は達成率100%以上となっていることは評価できる。
	目標値	11,224	12,296	12,296	12,296	12,296	
	実績	12,538	12,439	9,731	8,113	10,856	
	達成度	112%	101%	79%	66%	88%	
		利用件数(単位:件)					
	目標値	377	492	492	492	492	
	実績	553	654	502	457	622	
達成度	147%	133%	102%	93%	126%		
指定管理者の収支状況	項目	H30年度	H31・R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	例年、指定管理料内で施設運営を実施しており、適正な収支状況で施設運営に努めていると評価できる。
	収支	17	115	0	34	6	
	収入(千円)	6,538	6,322	6,326	6,326	6,326	
	指定管理料	6,538	6,322	6,326	6,326	6,326	
	利用料金	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	0	
	支出(千円)	6,521	6,207	6,326	6,292	6,320	
	人件費	5,782	5,834	5,925	5,917	5,980	
	事務費	739	373	400	375	340	
	管理費	0	0	0	0	0	
その他	0	0	0	0	0		

新和地区体育文化交流センター指定管理者候補者選定方法等一覧

項目		内容
管理運営業務	主な管理運営業務の内容	受付、使用許可業務、維持管理業務(施設・設備日常点検等)、自主事業の企画運営
	結果	管理については利用者の安心安全を第一とし、故障や不具合の発生に対し速やかに対処した。運営については利用者ニーズを捉え、法令遵守しながら、公平な貸館とサービス提供に努めた。
	評価	一般利用者へのアンケート調査や意見聴取を行うなど利用者ニーズ把握に努め、対応可能な場合は意見を反映させるなどサービス向上への意欲が高く、施設の管理運営全般的に適正であると評価できる。
自主事業	事業計画の内容	地域住民との連携・協働によりふくろう巣箱作り教室や料理教室を開催するなど、積極的に自主事業を実施している。
	結果	新型コロナウイルス感染症の影響による中止もあったが、地域住民の世代間交流をはじめとした交流センターの設置目的を達成することができた。
	評価	世代間の交流事業に関する事業を行い、その保健福祉の向上を図る効果があったと評価できる。
評価課題を踏まえた、指定管理者の選定方法や施設の管理運営における課題		管理は適切だったと評価できるが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響もあり目標値を達成できない年度が多かった。地域住民をはじめ、より多くの世代間交流事業や高齢者への生きがいづくり事業などを実施し、利用者の増加を図ることが課題である。
評価課題を踏まえて、指定管理者の選定方法や施設の管理運営に反映した改善内容		まずは成果指標の数値を新型コロナウイルス感染症の感染拡大以前に回復することを目指し、平成28～30年度の3か年平均を目標値として設定した(なお、年間利用件数については、令和4年度実績が平成28年度から平成30年度の平均を既に超えているため、令和4年度実績を1割増加した数値を指標とした)。また、コロナ禍においても評価しやすい成果指標として「施設全体の満足度」を追加した。

3. 指定管理者に特に要請する事項

- ①利用促進
利用者の増加を図る効果的な事業提案により、成果指標である年間利用者・件数の増加を要請する。
- ②市民サービス向上
利用者アンケートの要望等を管理方法に反映し、成果指標である利用者満足度の向上を要請する。
- ③施設管理の徹底
市民が安全かつ快適に施設を利用できるよう、施設を適正に管理することを要請する。

4. 次期指定期間における成果指標について

指標内容	年間利用者数(人)				
目標値	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度
	12,376	12,376	12,376	12,376	12,376
指標内容	年間利用件数(件)				
目標値	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度
	684	684	684	684	684
指標内容	アンケート満足度(%)				
目標値	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度
	90	90	90	90	90

新和地区体育文化交流センター指定管理者候補者選定方法等一覧

5. 次期指定管理者の選定方法等について			
募集方法	非公募		
非公募とする団体	新和地区町会連合会		
非公募とする理由	新和地区体育文化交流センターは地域住民のコミュニティ活動の拠点となる施設であることから、地域の人材を積極的に活用することにより、施設の設置目的に沿った管理運営を行うことができるため。		
指定期間	令和6年4月1日～令和11年3月31日(5年)		
5年以外とする理由			
利用料金制の有無	導入しない		
応募要件			
グループ応募の可否			
事業所の範囲			
専門資格等の要否			
選定基準			
評価項目		評価の視点	配点
(1)	総合的事項		10
	施設の設置目的及び市が示した管理運営の方針との適合性	設置目的を理解し、市が示した管理運営方針に沿った提案となっているか。	10
(2)	市民の平等な利用を確保することができること		5
	平等な利用を図るための具体的手法及び期待される効果	関係法令等の遵守、利用者の平等な利用の確保、差別的な取り扱いをしないための具体的な手法が記載され、十分な効果が期待できる内容となっているか。	5
(3)	施設の設置目的を効果的に達成することができること		50
	① 利用者の増加を図るための具体的手法及び期待される効果	利用者の増加を図るために、具体的な事業計画が記載され、十分な効果が期待できる内容となっているか。	15
	② サービスの向上を図るための具体的手法及び期待される効果	利用者への基本的なサービス向上を図るものであるとともに、利用者等の要望や意見を日常的及び定期的に把握するための仕組みを整え、把握した要望等について管理に反映するための具体的な計画が記載され、その実現性が高いものとなっているか。	15
	③ 施設の維持管理の内容、適格性及び実現の可能性	市民が快適に施設を使用できるよう、施設を適正に維持管理するとともに、常に効率的、効果的な管理に努めることができるよう、具体的な実施計画が記載され、その内容が的確で実現性の高い内容となっているか。	15
	④ 自主事業の企画内容及び期待される効果	施設の設置目的を効果的に達成するために具体的な事業計画が記載され、十分な効果が期待できる内容となっているか。	5

新和地区体育文化交流センター指定管理者候補者選定方法等一覧

(4)	施設の効率的な管理運営ができること		15
	① 施設の管理運営に係る経費の内容	人件費を含めて、施設の管理に係る経費の内容が具体的で、適正に見込まれているか。	10
	② 収支計画の内容、適格性及び実現の可能性	収入、支出の積算と事業計画の整合性は図られているか。収支計画の実現可能性はあるか。	5
(5)	施設の管理運営を適正かつ確実に行う能力を有していること		20
	① 安定的な管理運営が可能となる人的能力	団体の組織体制が確立され、指揮命令系統及び責任の所在が明らかになっているか。 施設管理に係る職員の位置づけが明確にされているか。 常に1名以上の職員を配置する計画となっているか。 施設運営に配慮した人材の配置となっているか。 職員確保の方策は適切か。 職員の指導育成、研修体制は十分か。	10
	② 個人情報等の適正な取扱いの確保	個人情報等の適正な取り扱いの確保について具体的に記載しており、その実現性が高い内容になっているか。	5
	③ これまでの管理運営実績	これまでのセンターの管理運営実績について、どのような実績があるか。	5
合計			100

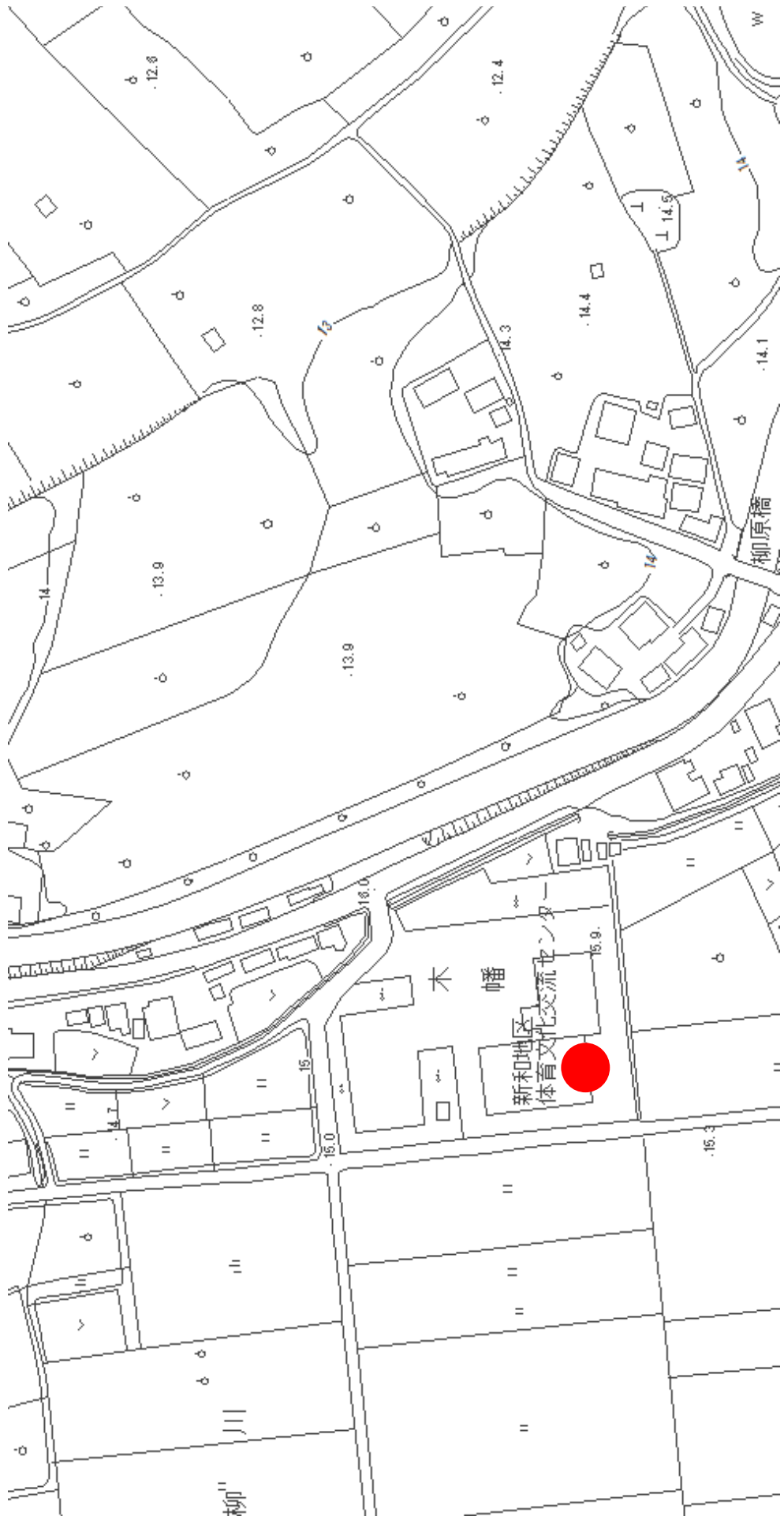
新和地区体育文化交流センター指定管理者候補者選定方法等一覧

6. 指定管理者の業務内容について				
項目	業務区分		説明	
	指定管理者	市		
1	維持管理に関する事業			
	(1)	建築物等保守管理業務		
		①	巡視及び異常時の連絡	○
		②	保守・点検(専門的)	○
		③	小額修繕(1件あたり10万円未満)	○
		④	中・大規模修繕	○
	(2)	機械・設備保守管理業務		○
	(3)	清掃業務		○
	(4)	植栽管理業務		○
	(5)	警備業務		
		①	人警備	○
		②	機械警備	○
	(6)	除雪業務		○
	(7)	備品関連業務		
		①	備品の管理	○
		②	備品の調達	○
		③	調達備品の保守・点検	○
2	使用の許可等に関する事		○	
3	使用料の収納業務に関する事		○	
4	施設で行う事業の実施に関する事			
	自主事業		○	
	期待する自主事業の内容		交流センターの設置目的を達成する事業であり、施設の周知、利用者の増加につながる事業	
新たに指定管理業務に追加する業務			特になし	
職員配置等の条件			①施設全体を統括できる能力を有する施設長を1名配置すること。(連絡が取れる体制であれば、常駐の必要はなし。) ②開館時間中は、特別の場合を除き、常に1名以上の職員を勤務させること。 ③職員の勤務形態は、労働関係法令を遵守し、センターの管理に支障がないように定めること。 ④職員に対して、施設の管理に必要な研修を実施すること。	
現在の職員配置体制			所長1名、事務員2名	
補足説明				

新和地区体育文化交流センター指定管理者候補者選定方法等一覧

7. 指定管理料の積算内訳			
	次年度収支予算(千円)	令和5年度収支予算(千円)	増減
指定管理業務に係る収入	6,438	6,326	112
利用料金	0	0	0
指定管理料	6,438	6,326	112
その他	0	0	0
指定管理業務に係る支出	6,438	6,326	112
人件費	5,967	6,090	-123
事務費	379	221	158
管理費	70	0	70
その他	22	15	7
増減の主な内容	<ul style="list-style-type: none"> ・賃金の減 ・消耗品費の増 ・施設修繕料の増 		

新和地区体育文化交流センター 資料





【写真1】外観



【写真2】内装①



【写真3】内装②

9 岩木嶽さわやかホール

指定管理者候補者選定方法等一覧

岩木嶽さわやかホール指定管理者候補者選定方法等一覧

担当部課名	市民生活部市民協働課
施設名称	岩木嶽さわやかホール
1. 施設の概要について	
設置の目的	地場産品の普及に努め幅広い活動向上を図り、都市との結びつきを深め活力のある農業農村を目指すことを目的とする。
施設所在地	弘前市大字常盤野字湯の沢45番地24
開館日	平成13年1月
施設規模	延床面積 359㎡ 鉄骨造 平屋建
施設内容	1階大広間、和室、調理室ほか 共用部分 ロビー、トイレほか
開館時間	9:00～21:00(利用時のみ開館) 休館日:設定なし
指定管理者制度の導入 ・更新時期	平成18年4月導入・平成22年4月更新・平成26年4月更新・平成31年4月更新
現在の指定管理者	常盤野町会

岩木嶽さわやかホール指定管理者候補者選定方法等一覧

2. 現指定期間の実績・評価・課題等について							
項目	H30年度	H31・R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	評価	
成果指標 / 利用状況	指標	利用者数(単位:人)					<p>評価指標は、利用者数と利用件数を設定している。</p> <p>指定期間5年間のうち、令和元年度末から令和3年度まで、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、目標達成は困難であったと判断できる。</p> <p>利用者数、利用件数とも、コロナ禍で減少し、目標値を大きく下回る結果となったが、令和4年度は利用者数90%以上、利用件数は200%と増加したことは評価できる。</p>
	目標値	341	454	454	454	454	
	実績	302	112	28	91	429	
	達成度	89%	25%	6%	20%	94%	
		利用件数(単位:件)					
	目標値	19	11	11	11	11	
	実績	14	5	2	3	22	
達成度	74%	45%	18%	27%	200%		
指定管理者の収支状況	項目	H30年度	H31・R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	<p>完全利用料金制度での施設運営であり、指定管理者の予算内で管理を適正に運営できていると評価できる。</p>
	収支	0	0	0	0	0	
	収入(千円)	290	240	229	274	333	
	指定管理料	0	0	0	0	0	
	利用料金	52	18	0	8	20	
	その他	238	222	229	266	313	
	支出(千円)	290	240	229	274	333	
	人件費	0	0	0	0	0	
	事務費	51	80	61	65	109	
	管理費	239	159	167	209	224	
その他	0	0	0	0	0		

岩木嶽さわやかホール指定管理者候補者選定方法等一覧

項目		内容
管理運営業務	主な管理運営業務の内容	受付、利用許可業務、維持管理業務(施設・設備日常点検等)
	結果	管理については利用者の安心安全を第一とし、故障や不具合の発生に対し速やかに対処した。運営については、法令遵守しながら、公平な貸館とサービス提供に努めた。
	評価	利用者がいない場合であっても、定期的に日常点検を行い、必要に応じて市へ報告するなど、施設の管理運営全般的に適正であると評価できる。
自主事業	事業計画の内容	自主事業に関する協定なし
	結果	
	評価	
評価課題を踏まえた、指定管理者の選定方法や施設の管理運営における課題		管理は適切だったと評価できるが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響もあり目標値はできなかった。施設の設置目的を果たせるような管理運営をする方法を求めることを重点とし、評価配点も高配点としている。 地場産品の普及に努め幅広い活動向上を図り、都市との結びつきを深め活力のある農業地域を目指すという理念の基づき、これまで以上に市民に活用され、地域活動の中心となる施設としてより多く活用されることが課題である。
評価課題を踏まえて、指定管理者の選定方法や施設の管理運営に反映した改善内容		まずは成果指標の数値を新型コロナウイルス感染症の感染拡大以前に回復することを目指し、平成28～30年度の3か年平均を目標値として設定した。また、コロナ禍においても評価しやすい成果指標として「施設全体の満足度」を追加した。

3. 指定管理者に特に要請する事項

- ①利用促進と市民サービス向上
利用者の増加を図る効果的な事業提案により、成果指標である年間利用者・件数の増加を要請するとともに、利用者の要望等を管理方法に反映し、市民サービスの向上に努めることを要請します。
- ②施設管理の徹底
市民が安全かつ快適に施設を利用できるよう、施設を適正に管理することを要請します。

4. 次期指定期間における成果指標について

指標内容	年間利用者数(人)				
目標値	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度
	403	403	403	403	403
指標内容	年間利用件数(件)				
目標値	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度
	12	12	12	12	12
指標内容	アンケート満足度(%)				
目標値	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度
	90	90	90	90	90

岩木嶽さわやかホール指定管理者候補者選定方法等一覧

5. 次期指定管理者の選定方法等について			
募集方法	非公募		
非公募とする団体	常盤野町会		
非公募とする理由	岩木嶽さわやかホールは地域住民のコミュニティ活動の拠点となる施設であることから、地域の人材を積極的に活用することにより、施設の設置目的に沿った管理運営を行うことができるため。		
指定期間	令和6年4月1日～令和11年3月31日(5年)		
5年以外とする理由			
利用料金制の有無	完全利用料金制		
応募要件			
グループ応募の可否			
事業所の範囲			
専門資格等の要否			
選定基準			
評価項目	評価の視点		配点
(1) 総合的事項			10
施設の設置目的及び市が示した管理運営の方針との適合性	設置目的を理解し、市が示した管理運営方針に沿った提案となっているか。		10
(2) 市民の平等な利用を確保することができること			5
平等な利用を図るための具体的手法及び期待される効果	関係法令等の遵守、利用者の平等な利用の確保、差別的な取り扱いをしないための具体的な手法が記載され、十分な効果が期待できる内容となっているか。		5
(3) 施設の設置目的を効果的に達成することができること			45
① 利用者の増加及びサービスの向上を図るための具体的手法及び期待される効果	利用者の増加及びサービス向上を図るために、具体的な事業計画が記載され、十分な効果が期待できる内容となっているか。		30
② 施設の維持管理の内容、適格性及び実現の可能性	市民が快適に施設を使用できるよう、施設を適正に維持管理するとともに、常に効率的、効果的な管理に努めることができるよう、具体的な実施計画が記載され、その内容が的確で実現性の高い内容となっているか。		15
(4) 施設の効率的な管理運営ができること			20
① 施設の管理運営に係る経費の内容	人件費を含めて、施設の管理に係る経費の内容が具体的で、適正に見込まれているか。		10
② 収支計画の内容、適格性及び実現の可能性	収入、支出の積算と事業計画の整合性は図られているか。収支計画の実現可能性はあるか。		10

岩木嶽さわやかホール指定管理者候補者選定方法等一覧

(5)	施設の管理運営を適正かつ確実にを行う能力を有していること	20
	① 安定的な管理運営が可能となる人的能力	10
	② 個人情報等の適正な取扱いの確保	5
	③ これまでの管理運営実績	5
合計		100

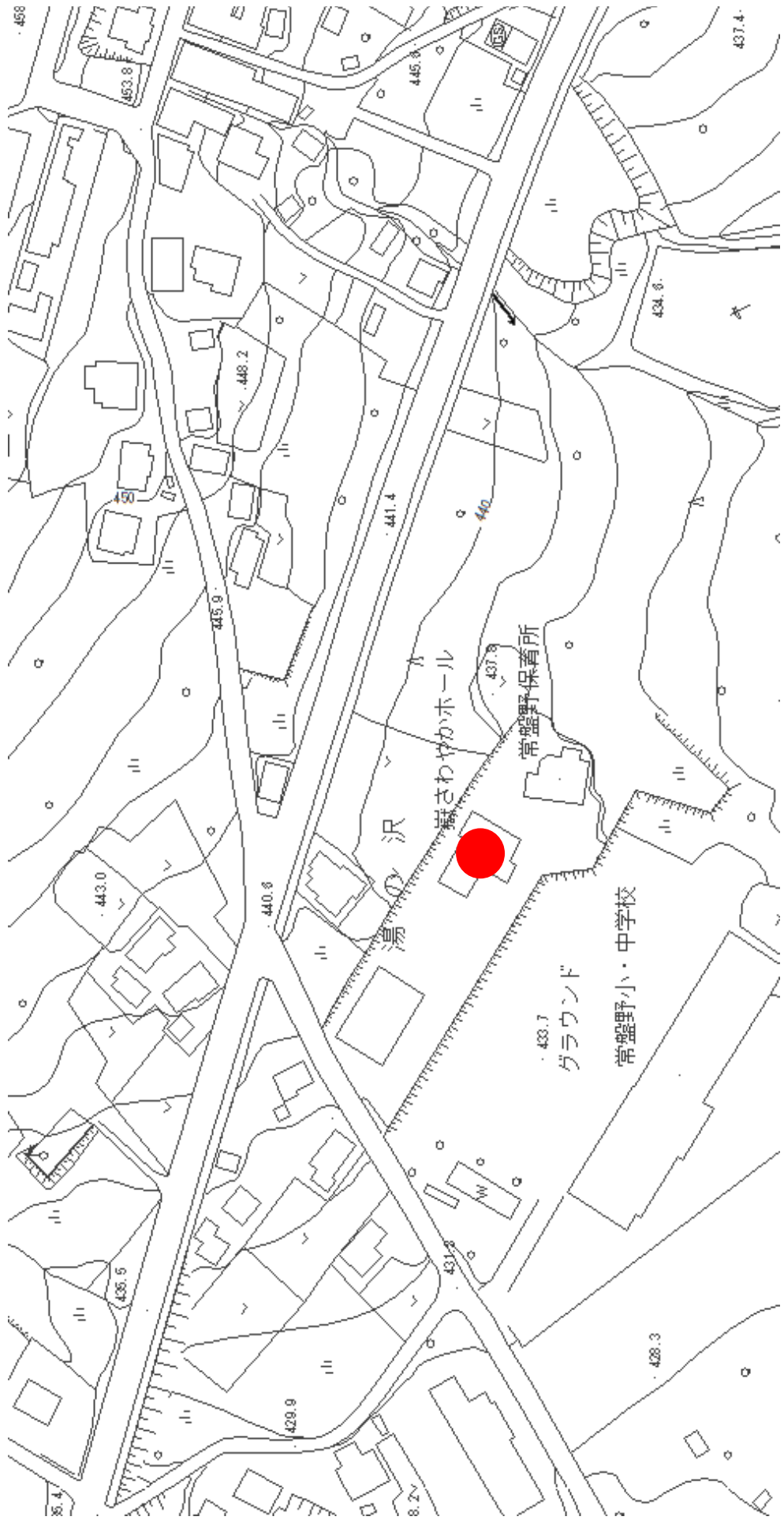
岩木嶽さわやかホール指定管理者候補者選定方法等一覧

6. 指定管理者の業務内容について				
項目	業務区分		説明	
	指定管理者	市		
1	維持管理に関する事業			
	(1)	建築物等保守管理業務		
		①	巡視及び異常時の連絡	○
		②	保守・点検(専門的)	○
		③	小額修繕(1件あたり10万円未満)	○
		④	中・大規模修繕	○
	(2)	機械・設備保守管理業務	○	
	(3)	清掃業務	○	
	(4)	植栽管理業務	○	
	(5)	警備業務		
		①	人警備	
		②	機械警備	
	(6)	除雪業務	○	
	(7)	備品関連業務		
		①	備品の管理	○
②		備品の調達	○	
	③	調達備品の保守・点検	○	
2	利用の許可等に関すること		○	
3	利用料金の収納業務に関すること		○	
4	施設で行う事業の実施に関すること			
	自主事業			
	期待する自主事業の内容			
新たに指定管理業務に追加する業務			特になし	
職員配置等の条件			施設の統括として、施設長を配置すること。ただし、連絡が取れる体制であれば、常駐の必要はない。	
現在の職員配置体制			9人(職員常駐無し)	
補足説明				

岩木嶽さわやかホール指定管理者候補者選定方法等一覧

7. 指定管理料の積算内訳			
	次年度収支予算(千円)	令和5年度収支予算(千円)	増減
指定管理業務に係る収入	324	324	0
利用料金	30	30	0
指定管理料	0	0	0
その他	294	294	0
指定管理業務に係る支出	324	324	0
人件費	0	0	0
事務費	70	70	0
管理費	254	254	0
その他	0	0	0
増減の主な内容			

岩木嶽さわやかホール 資料





【写真1】外観

10 岩木常盤野コミュニティセンター

指定管理者候補者選定方法等一覧

岩木常盤野コミュニティセンター指定管理者候補者選定方法等一覧

担当部課名	市民生活部市民協働課
施設名称	岩木常盤野コミュニティセンター
1. 施設の概要について	
設置の目的	地域住民のコミュニティ意識の高揚を図り、郷土愛に根ざした自主的地域活動の推進に資することを目的とする。
施設所在地	弘前市大字常盤野字上黒沢25番地73
開館日	平成3年4月
施設規模	延床面積 198㎡ 鉄骨造 平屋建
施設内容	1階 集会室、調理実習室、談話室ほか 共用部分 ロビー、下足コーナー、トイレほか
開館時間	9:00～21:00(利用時のみ開館) 休館日:設定なし
指定管理者制度の導入 ・更新時期	平成18年4月導入・平成22年4月更新・平成26年4月更新・平成31年4月更新
現在の指定管理者	岩木常盤野コミュニティセンター管理組合

岩木常盤野コミュニティセンター指定管理者候補者選定方法等一覧

2. 現指定期間の実績・評価・課題等について							
項目	H30年度	H31・R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	評価	
成果指標 / 利用状況	指標	利用者数(単位:人)					評価指標は、利用者数と利用件数を設定している。 指定期間5年間のうち、利用者数、利用件数とも、目標値を大きく下回る結果である。
	目標値	413	281	281	281	281	
	実績	245	135	131	44	73	
	達成度	59%	48%	47%	16%	26%	
		利用件数(単位:件)					
	目標値	31	14	14	14	14	
	実績	14	10	10	5	5	
達成度	45%	71%	71%	36%	36%		
指定管理者の収支状況	項目	H30年度	H31・R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	完全利用料金制度での施設運営であり、指定管理者の予算内で管理を適正に運営できていると評価できる。
	収支	15	17	0	45	57	
	収入(千円)	262	181	186	146	156	
	指定管理料	0	0	0	0	0	
	利用料金	80	31	53	20	30	
	その他	182	150	133	126	126	
	支出(千円)	247	164	186	101	99	
	人件費	0	0	0	0	0	
	事務費	46	54	0	0	0	
	管理費	201	110	186	101	99	
その他	0	0	0	0	0		

岩木常盤野コミュニティセンター指定管理者候補者選定方法等一覧

項目		内容				
管理運営業務	主な管理運営業務の内容	受付、利用許可業務、維持管理業務(施設・設備日常点検等)				
	結果	管理については利用者の安心安全を第一とし、故障や不具合の発生に対し速やかに対処した。運営については、法令遵守しながら、公平な貸館とサービス提供に努めた。				
	評価	利用者がいない場合であっても、定期的に日常点検を行い、必要に応じて市へ報告するなど、施設の管理運営全般的に適正であると評価できる。				
自主事業	事業計画の内容	自主事業に関する協定なし				
	結果					
	評価					
評価課題を踏まえた、指定管理者の選定方法や施設の管理運営における課題		<p>管理は適切だったと評価できるが、目標値は達成できなかった。施設の設置目的を果たせるような管理運営をする方法を求めることを重点とし、評価配点も高配点としている。</p> <p>地域住民のコミュニティ意識の高揚を図り、郷土愛に根ざした自主的地域活動の推進に資するために設置されたという理念の基づき、これまで以上に市民に活用され、地域活動の中心となる施設としてより多く活用されることが課題である。</p>				
評価課題を踏まえて、指定管理者の選定方法や施設の管理運営に反映した改善内容		<p>まずは成果指標の数値を新型コロナウイルス感染症の感染拡大以前に回復することを目指し、平成28～30年度の3か年平均を目標値として設定した。また、コロナ禍においても評価しやすい成果指標として「施設全体の満足度」を追加した。</p>				
3. 指定管理者に特に要請する事項						
<p>①利用促進と市民サービス向上 利用者の増加を図る効果的な事業提案により、成果指標である年間利用者・件数の増加を要請するとともに、利用者の要望等を管理方法に反映し、市民サービスの向上に努めることを要請します。</p> <p>②施設管理の徹底 市民が安全かつ快適に施設を利用できるよう、施設を適正に管理することを要請します。</p>						
4. 次期指定期間における成果指標について						
指標内容	年間利用者数(人)					
目標値	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	
	269	269	269	269	269	
指標内容	年間利用件数(件)					
目標値	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	
	14	14	14	14	14	
指標内容	アンケート満足度(%)					
目標値	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	
	90	90	90	90	90	

岩木常盤野コミュニティセンター指定管理者候補者選定方法等一覧

5. 次期指定管理者の選定方法等について			
募集方法	非公募		
非公募とする団体	岩木常盤野コミュニティセンター管理組合		
非公募とする理由	岩木常盤野コミュニティセンターは地域住民のコミュニティ活動の拠点となる施設であることから、地域の人材を積極的に活用することにより、施設の設置目的に沿った管理運営を行うことができるため。		
指定期間	令和6年4月1日～令和11年3月31日(5年)		
5年以外とする理由			
利用料金制の有無	完全利用料金制		
応募要件			
グループ応募の可否			
事業所の範囲			
専門資格等の要否			
選定基準			
評価項目	評価の視点		配点
(1) 総合的事項			10
施設の設置目的及び市が示した管理運営の方針との適合性	設置目的を理解し、市が示した管理運営方針に沿った提案となっているか。		10
(2) 市民の平等な利用を確保することができること			5
平等な利用を図るための具体的手法及び期待される効果	関係法令等の遵守、利用者の平等な利用の確保、差別的な取り扱いをしないための具体的な手法が記載され、十分な効果が期待できる内容となっているか。		5
(3) 施設の設置目的を効果的に達成することができること			45
① 利用者の増加及びサービスの向上を図るための具体的手法及び期待される効果	利用者の増加及びサービス向上を図るために、具体的な事業計画が記載され、十分な効果が期待できる内容となっているか。		30
② 施設の維持管理の内容、適格性及び実現の可能性	市民が快適に施設を使用できるよう、施設を適正に維持管理するとともに、常に効率的、効果的な管理に努めることができるよう、具体的な実施計画が記載され、その内容が的確で実現性の高い内容となっているか。		15
(4) 施設の効率的な管理運営ができること			20
① 施設の管理運営に係る経費の内容	人件費を含めて、施設の管理に係る経費の内容が具体的で、適正に見込まれているか。		10
② 収支計画の内容、適格性及び実現の可能性	収入、支出の積算と事業計画の整合性は図られているか。収支計画の実現可能性はあるか。		10

岩木常盤野コミュニティセンター指定管理者候補者選定方法等一覧

(5)	施設の管理運営を適正かつ確実に行う能力を有していること		20
	① 安定的な管理運営が可能となる人的能力	団体の組織体制が確立され、指揮命令系統及び責任の所在が明らかになっているか。 施設管理に係る職員の位置づけが明確にされているか。 施設運営に配慮した人材の配置となっているか。 職員確保の方策は適切か。 職員の指導育成、研修体制は十分か。	10
	② 個人情報等の適正な取扱いの確保	個人情報等の適正な取扱いの確保について具体的に記載しており、その実現性が高い内容になっているか。	5
	③ これまでの管理運営実績	これまでのセンターの管理運営実績について、どのような実績があるか。	5
合計			100

岩木常盤野コミュニティセンター指定管理者候補者選定方法等一覧

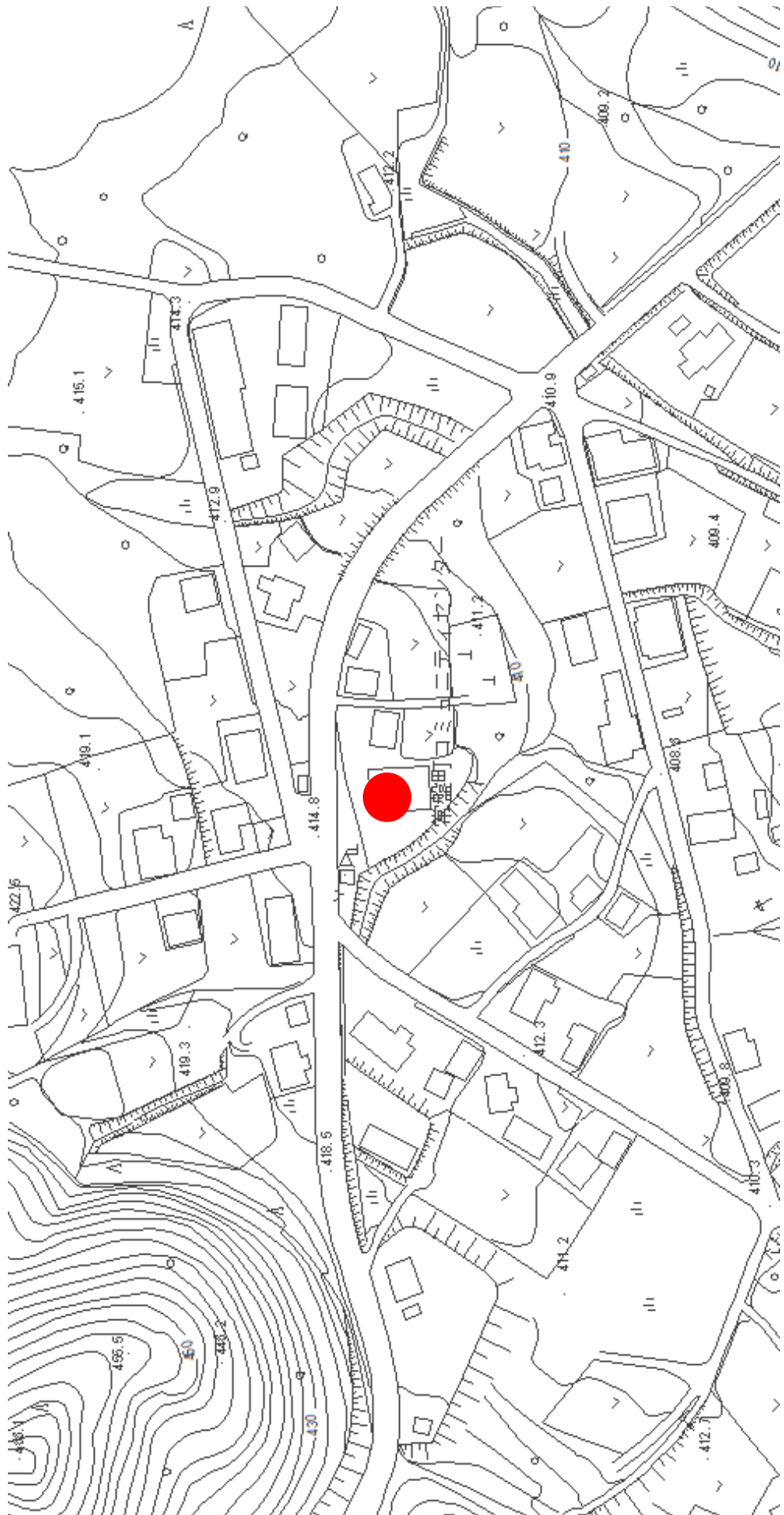
6. 指定管理者の業務内容について

項目	業務区分		説明
	指定管理者	市	
維持管理に関する事業			
建築物等保守管理業務			
(1) ① 巡視及び異常時の連絡	○		
(1) ② 保守・点検(専門的)		○	
(1) ③ 小額修繕(1件あたり10万円未満)		○	
(1) ④ 中・大規模修繕		○	
(2) 機械・設備保守管理業務	○		
(3) 清掃業務	○		
(4) 植栽管理業務	○		
(5) 警備業務			
(5) ① 人警備			
(5) ② 機械警備			
(6) 除雪業務	○		
(7) 備品関連業務			
(7) ① 備品の管理	○		
(7) ② 備品の調達		○	
(7) ③ 調達備品の保守・点検	○		
2 利用の許可等に関すること	○		
3 利用料金の収納業務に関すること	○		
4 施設で行う事業の実施に関すること			
4 自主事業			
期待する自主事業の内容			
新たに指定管理業務に追加する業務			特になし
職員配置等の条件			施設の統括として、施設長を配置すること。ただし、連絡が取れる体制であれば、常駐の必要はない。
現在の職員配置体制			7人(職員常駐無し)
補足説明			

岩木常盤野コミュニティセンター指定管理者候補者選定方法等一覧

7. 指定管理料の積算内訳			
	次年度収支予算(千円)	令和5年度収支予算(千円)	増減
指定管理業務に係る収入	337	337	0
利用料金	40	40	0
指定管理料	0	0	0
その他	297	297	0
指定管理業務に係る支出	337	337	0
人件費	0	0	0
事務費	66	66	0
管理費	211	211	0
その他	60	60	0
増減の主な内容			

岩木常盤野コミュニティセンター 資料





【写真1】外観

1 1 昂地区集会所

指定管理者候補者選定方法等一覽

昴地区集会所指定管理者候補者選定方法等一覧

担当部課名	市民生活部市民協働課
施設名称	昴地区集会所
1. 施設の概要について	
設置の目的	地域住民の交流活動及び福祉の向上を図り、郷土愛に根ざした自主的地域活動の推進に資することを目的とする。
施設所在地	弘前市大字昴5番地2
開館日	平成10年9月
施設規模	延床面積 369㎡ 木造 平屋建
施設内容	1階 和の間、洋の間、大広間、調理の間ほか 共用部分 ロビー、トイレほか
開館時間	9:00～21:00(利用時のみ開館) 休館日:設定なし
指定管理者制度の導入 ・更新時期	平成18年4月導入・平成22年4月更新・平成26年4月更新・平成31年4月更新
現在の指定管理者	昴町会

昴地区集会所指定管理者候補者選定方法等一覧

2. 現指定期間の実績・評価・課題等について							
項目	H30年度	H31・R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	評価	
成果指標 / 利用状況	指標	利用者数(単位:人)					<p>評価指標は、利用者数と利用件数を設定している。</p> <p>指定期間5年間のうち、令和元年度末から令和3年度まで、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、目標達成は困難であったと判断できる。</p> <p>利用者数、利用件数とも、コロナ禍で減少し、目標値を大きく下回る結果である。</p>
	目標値	2,166	1,694	1,694	1,694	1,694	
	実績	1,577	1,147	701	602	656	
	達成度	73%	68%	41%	36%	39%	
		利用件数(単位:件)					
	目標値	174	145	145	145	145	
	実績	134	133	95	78	114	
達成度	77%	92%	66%	54%	79%		
指定管理者の収支状況	項目	H30年度	H31・R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	<p>完全利用料金制度での施設運営であり、指定管理者の予算内で管理を適正に運営できていると評価できる。</p>
	収支	0	0	0	0	0	
	収入(千円)	192	173	173	177	184	
	指定管理料	0	0	0	0	0	
	利用料金	40	46	40	29	41	
	その他	151	127	133	148	143	
	支出(千円)	192	173	173	177	184	
	人件費	0	0	0	0	0	
	事務費	0	0	0	0	0	
	管理費	192	173	173	177	184	
その他	0	0	0	0	0		

昴地区集会所指定管理者候補者選定方法等一覧

項目	内容				
管理運営業務	主な管理運営業務の内容	受付、利用許可業務、維持管理業務(施設・設備日常点検等)			
	結果	管理については利用者の安心安全を第一とし、故障や不具合の発生に対し速やかに対処した。運営については、法令遵守しながら、公平な貸館とサービス提供に努めた。			
	評価	利用者がいない場合であっても、定期的に日常点検を行い、必要に応じて市へ報告するなど、施設の管理運営全般的に適正であると評価できる。			
自主事業	事業計画の内容	自主事業に関する協定なし			
	結果				
	評価				
評価課題を踏まえた、指定管理者の選定方法や施設の管理運営における課題		<p>管理は適切だったと評価できるが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響もあり目標値はできなかった。施設の設置目的を果たせるような管理運営をする方法を求めることを重点とし、評価配点も高配点としている。</p> <p>地域住民の交流活動及び福祉の向上を図り、郷土愛に根ざした自主的 地域活動の推進に資するという理念の基づき、これまで以上に市民に活用 され、地域活動の中心となる施設としてより多く活用されることが課題である。</p>			
評価課題を踏まえて、指定管理者の選定方法や施設の管理運営に反映した改善内容		<p>まずは成果指標の数値を新型コロナウイルス感染症の感染拡大以前に回復することを目指し、平成28～30年度の3か年平均を目標値として設定した。また、コロナ禍においても評価しやすい成果指標として「施設全体の満足度」を追加した。</p>			
3. 指定管理者に特に要請する事項					
<p>①利用促進と市民サービス向上 利用者の増加を図る効果的な事業提案により、成果指標である年間利用者・件数の増加を要請するとともに、利用者の要望等を管理方法に反映し、市民サービスの向上に努めることを要請します。</p> <p>②施設管理の徹底 市民が安全かつ快適に施設を利用できるよう、施設を適正に管理することを要請します。</p>					
4. 次期指定期間における成果指標について					
指標内容	年間利用者数(人)				
目標値	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度
	1,655	1,655	1,655	1,655	1,655
指標内容	年間利用件数(件)				
目標値	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度
	141	141	141	141	141
指標内容	アンケート満足度(%)				
目標値	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度
	90	90	90	90	90

昴地区集会所指定管理者候補者選定方法等一覧

5. 次期指定管理者の選定方法等について			
募集方法	非公募		
非公募とする団体	昴町会		
非公募とする理由	昴地区集会所は地域住民のコミュニティ活動の拠点となる施設であることから、地域の人材を積極的に活用することにより、施設の設置目的に沿った管理運営を行うことができるため。		
指定期間	令和6年4月1日～令和11年3月31日(5年)		
5年以外とする理由			
利用料金制の有無	完全利用料金制		
応募要件			
グループ応募の可否			
事業所の範囲			
専門資格等の要否			
選定基準			
評価項目		評価の視点	配点
(1)	総合的事項		10
	施設の設置目的及び市が示した管理運営の方針との適合性	設置目的を理解し、市が示した管理運営方針に沿った提案となっているか。	10
(2)	市民の平等な利用を確保することができること		5
	平等な利用を図るための具体的手法及び期待される効果	関係法令等の遵守、利用者の平等な利用の確保、差別的な取り扱いをしないための具体的な手法が記載され、十分な効果が期待できる内容となっているか。	5
(3)	施設の設置目的を効果的に達成することができること		45
	① 利用者の増加及びサービスの向上を図るための具体的手法及び期待される効果	利用者の増加及びサービス向上を図るために、具体的な事業計画が記載され、十分な効果が期待できる内容となっているか。	30
	② 施設の維持管理の内容、適格性及び実現の可能性	市民が快適に施設を使用できるよう、施設を適正に維持管理するとともに、常に効率的、効果的な管理に努めることができるよう、具体的な実施計画が記載され、その内容が的確で実現性の高い内容となっているか。	15
(4)	施設の効率的な管理運営ができること		20
	① 施設の管理運営に係る経費の内容	人件費を含めて、施設の管理に係る経費の内容が具体的で、適正に見込まれているか。	10
	② 収支計画の内容、適格性及び実現の可能性	収入、支出の積算と事業計画の整合性は図られているか。収支計画の実現可能性はあるか。	10

昴地区集会所指定管理者候補者選定方法等一覧

(5)	施設の管理運営を適正かつ確実にを行う能力を有していること	20
	① 安定的な管理運営が可能となる人的能力 <p style="font-size: small; margin-left: 20px;">団体の組織体制が確立され、指揮命令系統及び責任の所在が明らかになっているか。 施設管理に係る職員の位置づけが明確にされているか。 施設運営に配慮した人材の配置となっているか。 職員確保の方策は適切か。 職員の指導育成、研修体制は十分か。</p>	10
	② 個人情報等の適正な取扱いの確保 <p style="font-size: small; margin-left: 20px;">個人情報等の適正な取り扱いの確保について具体的に記載しており、その実現性が高い内容になっているか。</p>	5
	③ これまでの管理運営実績 <p style="font-size: small; margin-left: 20px;">これまでのセンターの管理運営実績について、どのような実績があるか。</p>	5
合計		100

昴地区集会所指定管理者候補者選定方法等一覧

6. 指定管理者の業務内容について				
項目	業務区分		説明	
	指定管理者	市		
1	維持管理に関する事業			
	(1)	建築物等保守管理業務		
		①	巡視及び異常時の連絡	○
		②	保守・点検(専門的)	○
		③	小額修繕(1件あたり10万円未満)	○
		④	中・大規模修繕	○
	(2)	機械・設備保守管理業務		○
	(3)	清掃業務		○
	(4)	植栽管理業務		○
	(5)	警備業務		
		①	人警備	
		②	機械警備	
	(6)	除雪業務		○
	(7)	備品関連業務		
		①	備品の管理	○
②		備品の調達	○	
	③	調達備品の保守・点検	○	
2	利用の許可等に関すること		○	
3	利用料金の収納業務に関すること		○	
4	施設で行う事業の実施に関すること			
	自主事業			
	期待する自主事業の内容			
新たに指定管理業務に追加する業務			特になし	
職員配置等の条件			施設の統括として、施設長を配置すること。ただし、連絡が取れる体制であれば、常駐の必要はない。	
現在の職員配置体制			2人(職員常駐無し)	
補足説明				

昴地区集会所指定管理者候補者選定方法等一覧

7. 指定管理料の積算内訳			
	次年度収支予算(千円)	令和5年度収支予算(千円)	増減
指定管理業務に係る収入	240	240	0
利用料金	40	40	0
指定管理料	0	0	0
その他	200	200	0
指定管理業務に係る支出	240	240	0
人件費	0	0	0
事務費	0	0	0
管理費	240	240	0
その他	0	0	0
増減の主な内容			

昂地区集会所 資料





【写真1】外観

1 2 弘前職業能力開発校

指定管理者候補者選定方法等一覽

弘前職業能力開発校指定管理者候補者選定方法等一覧

担当部課名	商工部 商工労政課
施設名称	弘前職業能力開発校
1. 施設の概要について	
設置の目的	職業能力開発促進法に基づき、労働者の職業訓練を行うために市が設置したものである。
施設所在地	弘前市大字田町五丁目3-3
開館日	昭和48年2月28日
施設規模	施設規模 敷地面積 2,560.94㎡ 【建物】 第1校舎 構造 軽量鉄骨造 地上2階建て 延床面積 683.82㎡ 第2校舎 構造 軽量鉄骨造 地上2階建て 延床面積 648.18㎡
施設内容	第1校舎 1階 事務室、建築塗装科吹付室、教室、建築塗装科実習場、木造建築科実習場、左官・タイル科実習場、物置 2階 会議室、教室兼製図室、和室 共用部分 玄関、廊下、便所、湯沸室、非常階段 第2校舎 1階 建築板金科実習場、教室、会議室兼応接室、和室、物置 2階 大ホール 共用部分 玄関、廊下、便所、湯沸室、非常階段 附属施設 駐車場
開館時間	9:00～17:00 ただし、職業訓練実施日は9:00～21:30 ※土・日・祝、年末年始休館
指定管理者制度の導入・更新時期	平成18年4月導入・平成22年4月更新・平成26年4月更新・平成30年4月更新
現在の指定管理者	職業訓練法人 弘前職業訓練協会

弘前職業能力開発校指定管理者候補者選定方法等一覧

2. 現指定期間の実績・評価・課題等について							
項目	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	評価	
成果指標	指標	訓練者数(普通課程)					訓練生の確保に向けた取組の実施にもかかわらず、生産年齢人口の減少や新型コロナウイルス感染症の影響により、全期間目標値を達成することができていない。
	目標値	28	28	28	28	28	
	実績	24	23	22	26	26	
	達成度	86%	82%	79%	93%	93%	
	指標	訓練者数(短期課程)					
	目標値	30	30	30	30	30	
	実績	28	26	17	21	23	
達成度	93%	87%	57%	70%	77%		
指定管理者の収支状況	項目	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	評価
	収支	612	491	368	662	859	計画的な予算執行や経費節減に努めるなど、収支の管理は適正であり、過大な繰越金もなく状況は良好である。
	収入(千円)	13,306	12,197	11,557	12,416	13,348	
	指定管理料	0	0	0	0	0	
	利用料金						
	その他	13,306	12,197	11,557	12,416	13,348	
	支出(千円)	12,694	11,706	11,189	11,754	12,489	
	人件費	9,161	7,895	7,705	7,766	8,558	
	事務費	1,268	1,078	1,020	1,435	1,314	
	管理費	2,133	2,620	2,358	2,428	2,506	
その他	132	113	106	125	111		
項目		内容					
管理運営業務	主な管理運営業務の内容	維持管理業務(施設・設備保守点検・清掃・警備等)、職業訓練業務、その他管理上市長が必要と認める業務に関する事					
	結果	業務報告書を毎月終了後10日以内に提出することになっているが、期限を過ぎることがあった。(令和3年度指摘)					
	評価	指摘後の対応は適切なものであり、概ね良好である。					
評価課題を踏まえた、指定管理者の選定方法や施設の管理運営における課題		指定管理者の業務範囲のうち、職業訓練の実施については、国・県の補助金等を活用していることから、一定数以上の生徒の確保が求められている。しかしながら、一部訓練科においては、支給要件を満たさず、補助金を活用できない年がある。効果的・効率的に業務を遂行するためにも、生徒数の確保は必要不可欠である。					
評価課題を踏まえて、指定管理者の選定方法や施設の管理運営に反映した改善内容		成果指標の目標値を過去5年間(H30～R4)の実績を踏まえ、見直しを行った。 普通課程生徒数:25人 短期課程生徒数:23人					

弘前職業能力開発校指定管理者候補者選定方法等一覧

3. 指定管理者に特に要請する事項

民間事業者が持つ知識や経験、ネットワーク等を活用し、効果的・効率的な管理による利用者の確保及び経費の節減を要請する。

4. 次期指定期間における成果指標について

指標内容	訓練生数(普通課程)				
目標値	令和6年度	令和7年度			
	25	25			
指標内容	訓練生数(短期課程)				
目標値	令和6年度	令和7年度			
	23	23			

5. 次期指定管理者の選定方法等について

募集方法	非公募
非公募とする団体	職業訓練法人 弘前職業訓練協会
非公募とする理由	弘前職業能力開発校は、職業能力開発促進法に基づく認定職業訓練を行うために市が設置した施設で、建築板金や木造建築、建築塗装等の職業訓練を行う設備が備わっている。 職業訓練法人弘前職業訓練協会は、当該職業訓練を行っており、市内で唯一弘前職業能力開発校を活用できる事業主団体であることから非公募とする。
指定期間	令和6年4月1日～令和8年3月31日
5年以外とする理由	令和8年度に現岩木保健福祉センター(賀田字大浦4-1)に移転する予定のため
利用料金制の有無	導入しない
応募要件	
グループ応募の可否	採用しない
事業所の範囲	弘前市内に本社機能を有する団体であること
専門資格等の要否	職業能力開発促進法に規定する職業訓練法人であること

弘前職業能力開発校指定管理者候補者選定方法等一覧

選定基準		
評価項目	評価の視点	配点
(1) 総合的事項		10
施設の設置目的及び市が示した管理運営の方針との適合性	開発校が、労働者に対し職業能力開発促進法に基づく認定職業訓練を受ける場を提供することにより、当市の地域産業に寄与する技能水準を維持・継承するための管理方法が提案されているか。	10
(2) 市民の平等な利用を確保することができること		5
平等な利用を図るための具体的手法及び期待される効果	関係法令、条例及び規則を遵守し、開発校の利用者の平等な利用を確保し、差別的な取扱いをしないための具体的な手法が記載され、十分な効果が期待できる内容となっているか。	5
(3) 施設の設置目的を効果的に達成することができること		40
① 利用者の確保を図るための具体的手法及び期待される効果	利用者の確保を図るための具体的な計画が記載され、十分な効果が期待できる内容となっているか。	15
② サービスの向上を図るための具体的手法及び期待される効果	利用者の意見・要望を、日常的または定期的に把握するための仕組みを整備し、かつ、実行するとともに、把握した内容について、施設管理に反映するための具体的な計画が記載され、その実現性が高いものとなっているか。	15
③ 施設の維持管理の内容、適格性及び実現の可能性	利用者が安全・安心・快適に施設を利用できるよう、施設を適正に維持管理するとともに、常に効果的・効率的な管理に努めることができるよう、具体的な計画が記載され、その内容が適格で実現性の高いものとなっているか。	10
(4) 施設の効率的な管理運営ができること		25
① 施設の管理運営に係る経費の内容	人件費を含め、施設の管理に係る経費の内容が、具体的で妥当なものとなっているか。	15
② 収支計画の内容、適格性及び実現の可能性	収入について、過大な計画となっていないか。また、支出についても、過小な計画となっていないか。	10
(5) 施設の管理運営を適正かつ確実に行う能力を有していること		20
① 安定的な管理運営が可能となる人的能力	開発校の統括として、校長を配置するとともに、常に1名以上の職員を配置する計画となっているか。また、施設管理上必要な研修について、配置される職員が柔軟に対応できる体制となっているか。	5
② 安定的な管理運営が可能となる経理的基盤	収支基盤及び経営が安定しているか。	5
③ 個人情報等の適正な取扱いの確保	個人情報等の適正な取扱いの確保について、具体的な手法が記載され、その実現性が高いものとなっているか。	5
④ 類似施設の管理運営実績	これまでの施設の管理は、適切な管理体制のもと、施設管理がおこなわれていたか。	5
合計		100

弘前職業能力開発校指定管理者候補者選定方法等一覧

6. 指定管理者の業務内容について				
項目	業務区分		説明	
	指定管理者	市		
1	維持管理に関する事業			
	(1)	建築物等保守管理業務		
		①	巡視及び異常時の連絡	○
		②	保守・点検(専門的)	○
		③	小額修繕(1件あたり10万円未満)	○
		④	中・大規模修繕	○
	(2)	機械・設備保守管理業務		○
	(3)	清掃業務		○
	(4)	植栽管理業務		○
	(5)	警備業務		
		①	人警備	
		②	機械警備	
	(6)	除雪業務		○
	(7)	備品関連業務		
		①	備品の管理	○
②		備品の調達	○	
	③	調達備品の保守・点検	○	
2	使用の許可等に関すること			
3	使用料の収納業務に関すること			
4	職業訓練の実施に関すること		○	
5	その他管理上市長が必要と認める業務に関すること		○	
6	施設で行う事業の実施に関すること			
	(1)	市の指定事業	○	
	(2)	自主事業		
	期待する自主事業の内容			
新たに指定管理業務に追加する業務		特になし		
職員配置等の条件		(1)統括として、校長を配置。(連絡が取れる体制であれば、常駐の必要はない。) (2)開館時間中は、特別の場合を除き、常に1名以上の職員を勤務させる。 (3)職員の勤務形態は、労働関係法令を遵守し、開発校の管理に支障がないように定める。 (4)職員に対して、施設の管理に必要な研修を実施する。		
現在の職員配置体制		校長、常勤職員2名、非常勤職員1名		
補足説明				

弘前職業能力開発校指定管理者候補者選定方法等一覧

7. 指定管理料の積算内訳			
	次年度収支予算(千円)	当年度収支予算(千円)	増減
指定管理業務に係る収入	13,224	13,393	-169
利用料金			0
指定管理料			0
その他	13,224	13,393	-169
指定管理業務に係る支出	13,224	13,393	-169
人件費	8,930	8,908	22
事務費	896	943	-47
管理費	2,377	2,521	-144
その他	1,021	1,021	0
増減の主な内容	管理費: 燃料費(使用量)が減少傾向であるため		

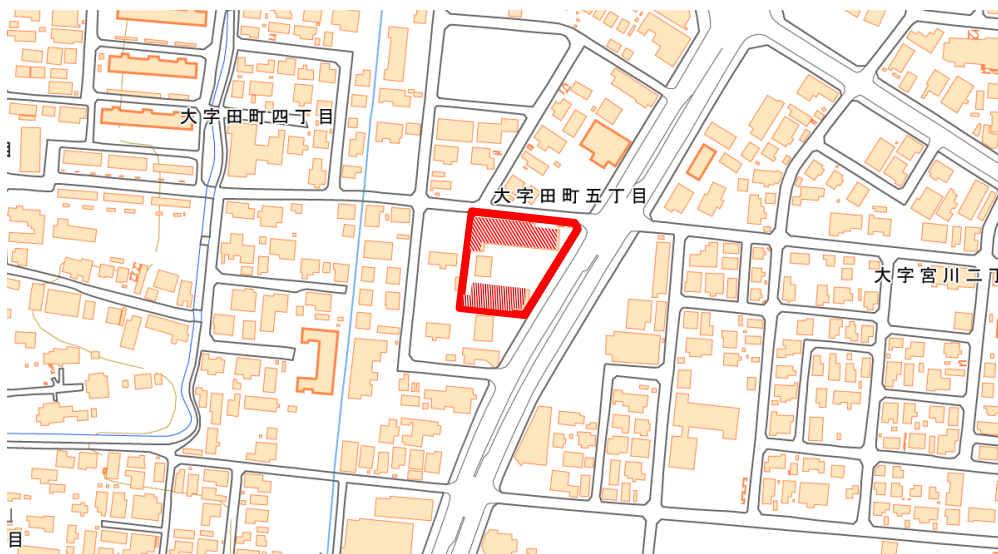
◀周辺地図▶

(位置図)



出典) 「地図データ」(国土地理院 <https://maps.gsi.go.jp/>) をもとに弘前市が作成

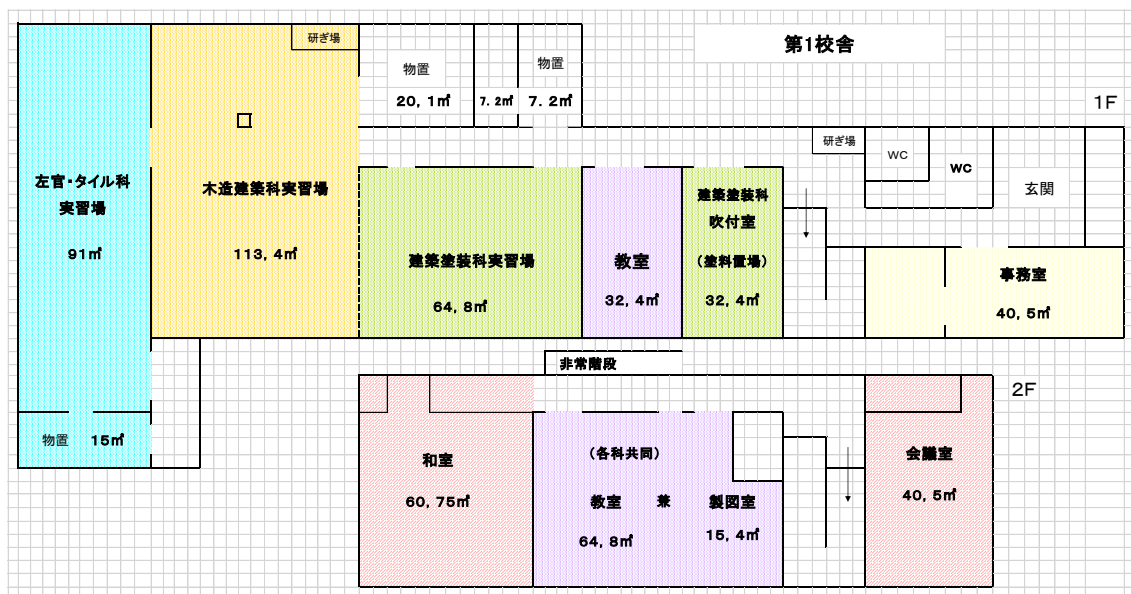
(配置図)



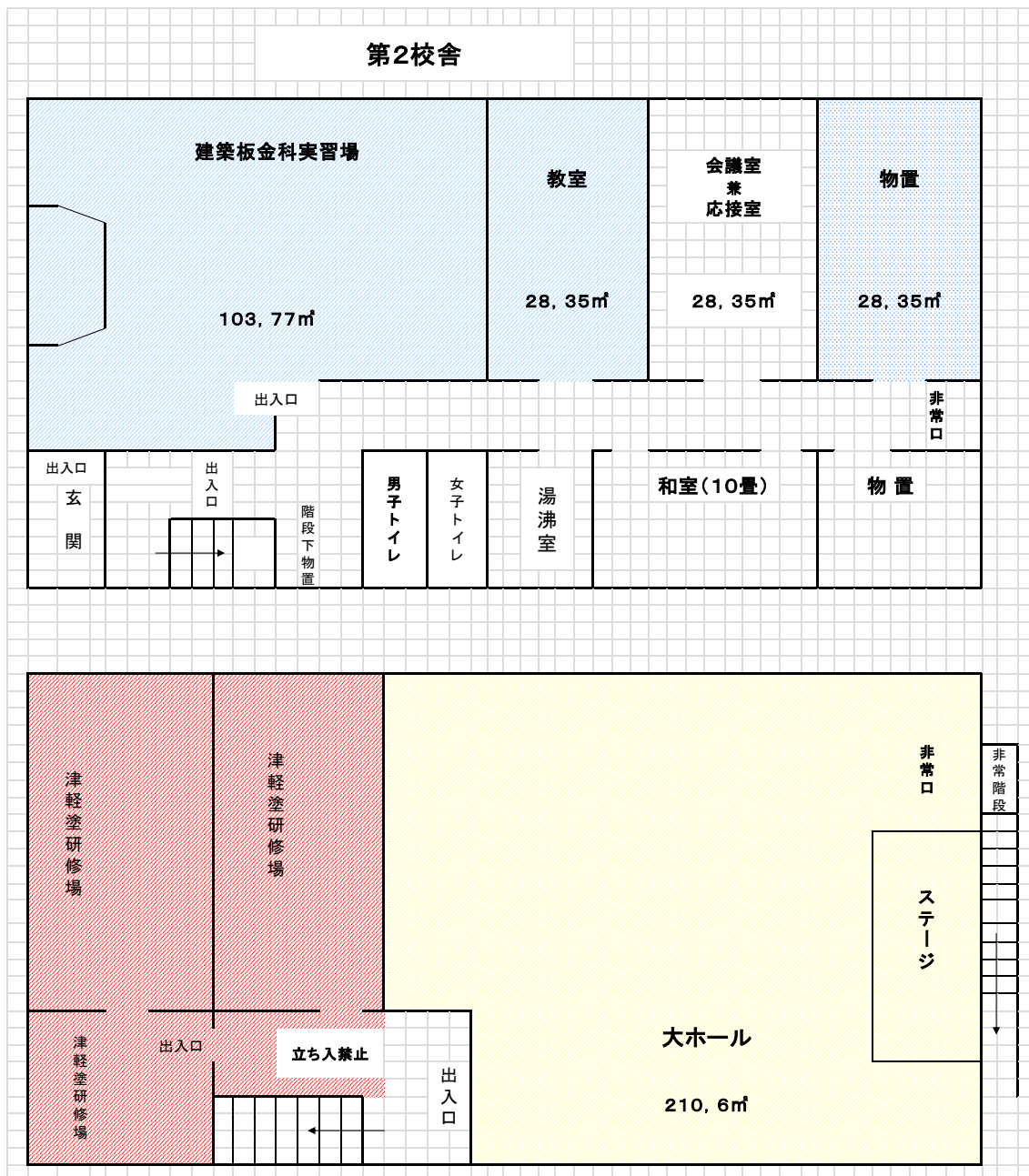
出典) 「地図データ」(国土地理院 <https://maps.gsi.go.jp/>) をもとに弘前市が作成

《平面図》

(第一校舎)



(第二校舎)



《外観写真》

(第一校舎)



(第二校舎)



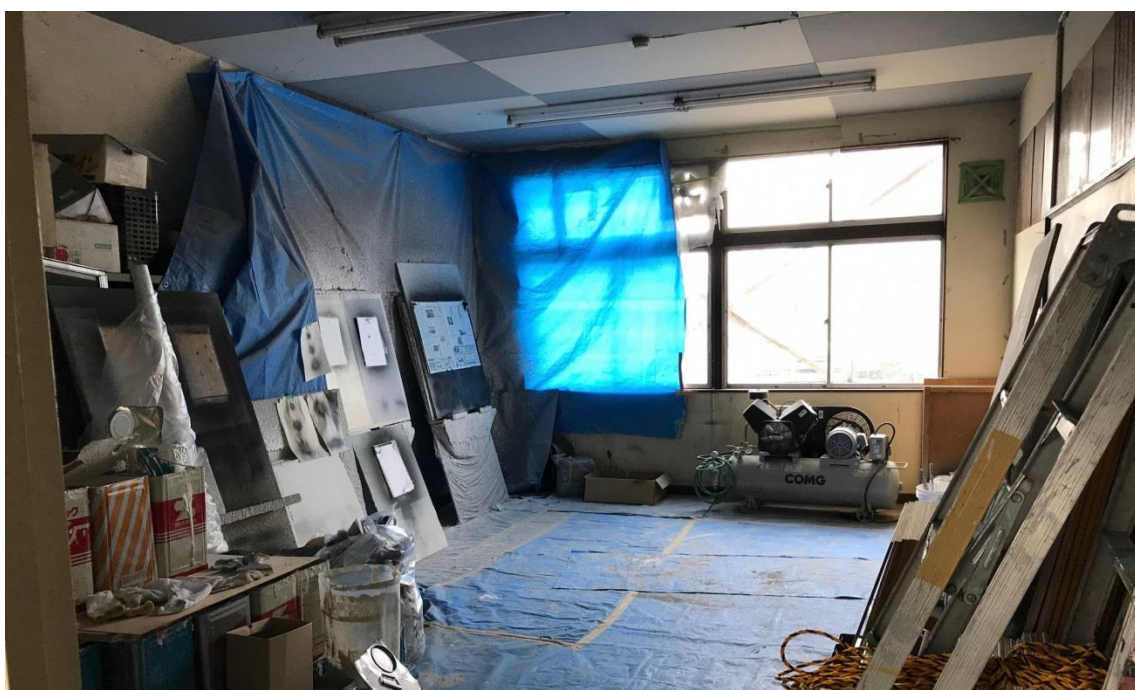
《内観写真》

(第一校舎)

○事務室



○建築塗装科吹付室



○教室



○建築塗装科実習場



○木造建築科実習場



○左官・タイル科実習場



○会議室



○教室兼製図室



○和室



(第二校舎)

○建築板金科実習場



○教室



○会議室兼応接室



○和室



○大ホール



1 3 弘前市伝統産業会館

指定管理者候補者選定方法等一覧

弘前市伝統産業会館指定管理者候補者選定方法等一覧

担当部課名	商工部産業育成課物産振興係
施設名称	弘前市伝統産業会館
1. 施設の概要について	
設置の目的	伝統産業の振興を図るとともに、市民の交流活動の場を提供するため設置するもの。
施設所在地	弘前市大字神田二丁目4番地9
開館日	平成15年4月1日(市の施設として供用開始)
施設規模	構 造 鉄筋コンクリート造 地上2階 建築面積 319.65㎡ 延床面積 503.87㎡
施設内容	1階 事務室(受付、16.42㎡)、会議室(152.09㎡) 2階 事務室(92.935㎡)、研修室(53.54㎡)、和室(40.30㎡) 共用部分 玄関ホールロビー、風除室、ポーチ、トイレ、湯沸室、廊下
開館時間	9:00～17:00(最大で午後8時まで可能) (土・日曜日、祝・休日、毎月第2金曜日、年末年始休館)
指定管理者制度の導入 ・更新時期	平成18年4月導入・平成22年4月更新・平成26年4月更新・平成31年4月更新
現在の指定管理者	弘前市伝統産業会館管理運営委員会

弘前市伝統産業会館指定管理者候補者選定方法等一覧

2. 現指定期間の実績・評価・課題等について							
項目	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	評価	
成果指標 / 利用状況	指標	利用者数(単位:人)					・新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、R3は目標値を達成できなかったが、その他の年度は目標値を上回る利用者数となっている。
	目標値	1,235	1,235	1,235	1,235	1,235	
	実績	1,941	1,371	1,096	1,647	-	
	達成度	157%	111%	89%	133%	-	
	項目						
	実績						
	項目						
実績							
指定管理者の収支状況	項目	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	評価
	収支	0	0	0	64	0	・R3年度までは、経費の支出が利用料金収入を上回っており、指定管理者の運営母体である青森県漆器協同組合連合会からの負担金で不足分を補っている状況であった。しかし、R4は利用件数増加のため、利用料金収入が支出を上回り黒字となっている。
	収入(千円)	371	342	364	447	0	
	指定管理料	0	0	0	0	-	
	利用料金	334	320	180	398	-	
	その他	37	22	184	49	-	
	支出(千円)	371	342	364	383	0	
	人件費	0	0	0	0	-	
	事務費	0	0	0	0	-	
	管理費	371	342	364	383	-	
その他	0	0	0	0	-		

弘前市伝統産業会館指定管理者候補者選定方法等一覧

項目		内容				
管理運営業務	主な管理運営業務の内容	受付、使用許可業務、維持管理業務(日常点検、駐車場・植栽の管理)				
	結果	受付や使用許可業務については円滑な業務遂行を行っており、日常点検などの維持管理業務については、問題があった際には市に直ちに連絡を入れるなど、業務を確実に遂行している。				
	評価	全体的に円滑な業務遂行が行われており、令和4年度は黒字経営となっているため、利用者が減少しないよう継続した取組が必要。				
自主事業	事業計画の内容	—				
	結果	—				
	評価	—				
評価課題を踏まえた、指定管理者の選定方法や施設の管理運営における課題		現在の指定管理者は伝統産業に従事する人材からなる組織であり、伝統産業の関係団体が施設利用の大半を占めているため、伝統産業の振興を目的とする当該施設の指定管理者としては適当であり、管理運営についても円滑に行われている。				
評価課題を踏まえて、指定管理者の選定方法や施設の管理運営に反映した改善内容		伝統産業の関係団体が引き続き当該施設を利用し、伝統産業の振興が図られるよう、現在の指定管理者による安定的な管理運営を目指し、非公募での選定とする。				
3. 指定管理者に特に要請する事項						
民間事業者が持つ知識や経験、ネットワークを活用し、施設の利活用方法、形態拡充による幅広い利用の促進と市民サービスの向上に資する管理運営を要請する。						
4. 次期指定期間における成果指標について						
指標内容	年間利用件数(件)					
目標値	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	
	121	121	121	121	121	

弘前市伝統産業会館指定管理者候補者選定方法等一覧

5. 次期指定管理者の選定方法等について			
募集方法	非公募		
非公募とする団体	弘前市伝統産業会館管理運営委員会		
非公募とする理由	弘前市伝統産業会館管理運営委員会は、伝統産業に従事する人材で組織されており、市の政策である伝統産業振興の推進のため、市と密接な連携を図りながら施設の管理運営を行うことができるため。		
指定期間	5年		
5年以外とする理由			
利用料金制の有無	完全利用料金制		
応募要件			
グループ応募の可否	否		
事業所の範囲	弘前市内		
専門資格等の要否	否		
選定基準			
	評価項目	評価の視点	配点
(1)	総合的事項		10
	施設の設置目的及び市が示した管理運営の方針との適合性	伝産会館が、伝統産業の振興を図るとともに、市民の交流活動の場を提供するという設置の理念に基づく管理方法が提案されているか。	10
(2)	市民の平等な利用を確保することができること		5
	平等な利用を図るための具体的手法及び期待される効果	関係法令、条例、規則等を遵守し、利用者の平等な利用を確保し、差別的な取扱いをしないための具体的な手法が記載されており、十分な効果が期待できる内容となっているか。	5
(3)	施設の設置目的を効果的に達成することができること		30
	① 利用者の増加を図るための具体的手法及び期待される効果	利用者の増加を図るための具体的な事業計画が記述されており、十分な効果が期待できる内容となっているか。	10
	② サービスの向上を図るための具体的手法及び期待される効果	利用者の要望・意見を、日常的及び定期的に把握するための仕組みを整え、実行するとともに、把握した要望等について管理に反映するための具体的な計画が記載され、その実現性が高いものとなっているか。	10
	③ 施設の維持管理の内容、適格性及び実現の可能性	市民が快適に施設を利用できるよう、施設を適正に維持管理するとともに、常に効率的効果的な管理に努めることができるよう、具体的な実施計画が記載され、その内容が適格で実現性の高い内容となっているか。	10

弘前市伝統産業会館指定管理者候補者選定方法等一覧

(4)	施設の効率的な管理運営ができること		30
	① 施設の管理運営に係る経費の内容	施設の管理に係る経費の内容が具体的に、適正に見込まれているか。	15
	② 収支計画の内容、適格性及び実現の可能性	収入、支出の積算と事業計画の整合性は図られているか。 収支計画の実現可能性はあるか。	15
(5)	施設の管理運営を適正かつ確実にを行う能力を有していること		15
	① 安定的な管理運営が可能となる人的能力	団体の組織体制が確立され、指揮命令系統及び責任の所在が明らかで、施設管理に係る職員の位置づけが明確にされているか。 施設運営に柔軟に対応できる人的計画がなされ、職員の育成・研修体制なども能力の向上が図られるよう計画されているか。	5
	② 安定的な管理運営が可能となる経理的基盤	収支基盤及び経営が安定しているか。	5
	③ 個人情報等の適正な取扱いの確保	個人情報等の適正な取扱いの確保について具体的に記載しており、その実現性が高い内容になっているか。	5
(6)	効果的な管理を踏まえた上で、伝統工芸関係の人材の確保に配慮していること		10
	④ 伝統工芸関係の人材確保への配慮	伝統産業の振興を図ることを目的として、伝統工芸品の魅力発信や伝統工芸品関係事業者等の当該施設の利用促進に配慮しているか。	10
合計			100

弘前市伝統産業会館指定管理者候補者選定方法等一覧

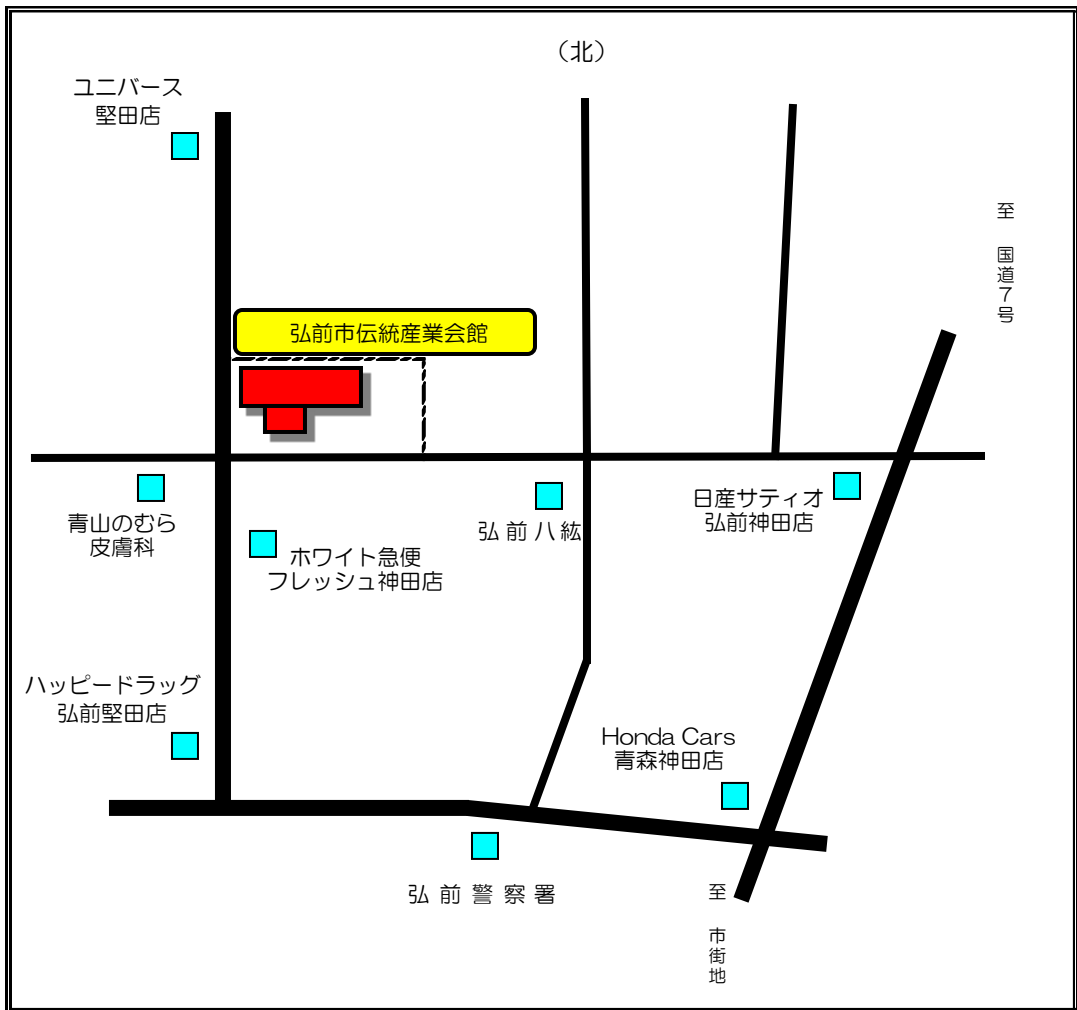
6. 指定管理者の業務内容について

項目	業務区分		説明
	指定管理者	市	
維持管理に関する事業			
(1) 建築物等保守管理業務			
① 巡視及び異常時の連絡	○		
② 保守・点検(専門的)		○	
③ 小額修繕(1件あたり20万円未満)		○	
④ 中・大規模修繕		○	
(2) 機械・設備保守管理業務		○	
(3) 清掃業務		○	
(4) 植栽管理業務	○	○	除草は指定管理者、樹木の剪定等は市
(5) 警備業務			
① 人警備			
② 機械警備		○	
(6) 除雪業務	○	○	簡易な除雪(玄関まわりなど)は指定管理者、その他は市
(7) 備品関連業務			
① 備品の管理	○		
② 備品の調達		○	
③ 調達備品の保守・点検		○	
2 使用の許可等に関する事	○		
3 使用料の収納業務に関する事	○		
新たに指定管理業務に追加する業務			
職員配置等の条件	<p>公の施設の管理者として自覚を持ち、業務の遂行及び利用者への対応を行うとともに、施設の設置目的を理解し、それにふさわしい態度で業務にあたることのできる職員を配置するものとします。</p> <p>(1) 施設全体を統括できる能力を有する館長を配置すること。</p> <p>(2) 開館時間中は、特別の場合を除き、各種業務に従事する最適な職員を常に1名以上勤務させること。</p> <p>(3) 職員の勤務形態は、労働関係法令を遵守し、伝産会館の管理に支障がないように定めること</p> <p>(4) 職員に対して、施設の管理に必要な研修を実施すること。</p>		
現在の職員配置体制	常勤1名、非常勤4名		
補足説明			

弘前市伝統産業会館指定管理者候補者選定方法等一覧

7. 指定管理料の積算内訳			
	次年度収支予算(千円)	当年度収支予算(千円)	増減
指定管理業務に係る収入	350	350	0
利用料金	320	320	0
指定管理料	0	0	0
その他	30	30	0
指定管理業務に係る支出	437	437	0
人件費	0	0	0
事務費	10	7	3
管理費	340	343	-3
その他	0	0	0
増減の主な内容			

【周辺地図】

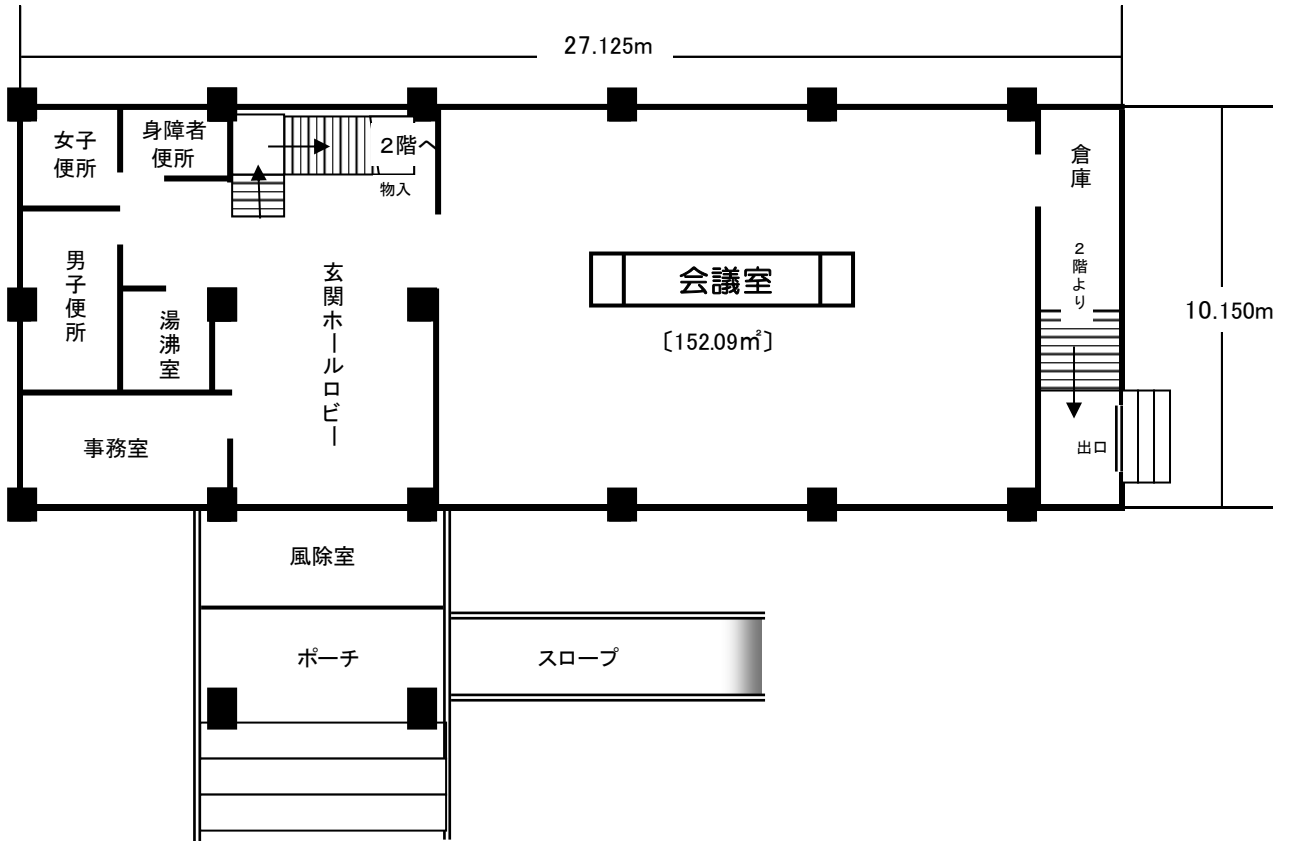


【外観写真】

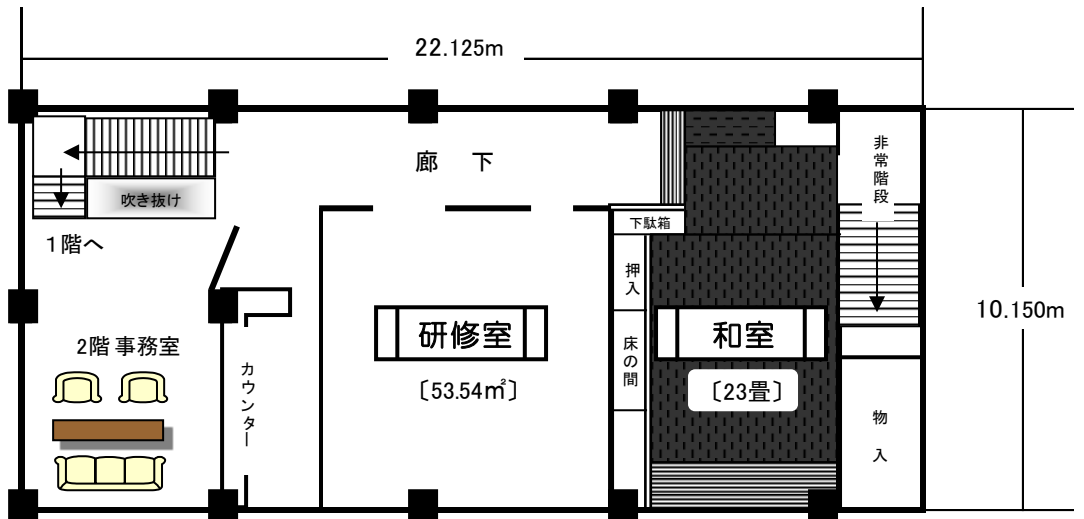


【施設平面図】

1 階



2 階



【1階会議室】



【2階研修室】



【2階和室】



1 4 弘前市立観光館駐車場

指定管理者候補者選定方法等一覧

弘前市立観光館駐車場指定管理者候補者選定方法等一覧

担当部課名	観光部観光課					
施設名称	弘前市立観光館駐車場					
1. 施設の概要について						
設置の目的	弘前市立観光館駐車場は、弘前市立観光館及び弘前市立図書館の利用者の駐車場並びに一般車両の駐車場として設置したものである。					
施設所在地	弘前市大字下白銀町2番地1					
開館日	平成2年7月1日					
施設規模	鉄筋コンクリート造、一部鉄骨鉄筋コンクリート造 地下1階(1層)、自走式 延床面積 3,419㎡					
施設内容	設備 乗用エレベーター1基、階段3か所 収容台数 88台(うち身体障害者用2台) 車両出入口 入口1か所、出口1か所 駐車できる自動車 長さ4.7m、幅2.0m、高さ2.1mを超えない普通自動車					
開館時間	0:00~24:00(年中無休)					
指定管理者制度の導入・更新時期	平成18年4月から導入(平成22年、平成26年、平成31年更新)					
現在の指定管理者	株式会社あおもり総合管理					
2. 現指定期間の実績・評価・課題等について						
	項目	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	評価
成果指標 / 利用状況	指標	利用台数				さくらまつり期間中は満車になる日があるが、それ以外の日は閑散としている。稼働率を上げることが課題である。
	目標値	134,285	134,285	134,285	134,285	
	実績	136,383	100,323	101,204	120,921	
	達成度	102%	75%	75%	90%	
	項目					
	実績					
	項目					
指定管理者の収支状況	項目	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	評価
	収支	1,807,700	-937,100	65,800	2,646,500	新型コロナウイルス感染症の影響で、令和2年度は利用者が激減し、完全利用料金制による観光館駐車場の管理・運営が困難となったため指定管理料を支出した。それ以外の年度においては、黒字で安定的に管理運営を行っている。
	収入(円)	13,015,700	8,425,900	8,812,800	11,965,500	
	指定管理料		1,966,000			
	利用料金	13,015,700	6,459,900	8,812,800	11,965,500	
	その他					
	支出(円)	11,208,000	9,363,000	8,747,000	9,319,000	
	人件費	4,623,000	4,326,000	4,614,000	4,982,000	
	事務費	212,000	224,000	253,000	222,000	
	管理費	5,944,000	4,369,000	3,782,000	4,017,000	
その他	429,000	444,000	98,000	98,000		

弘前市立観光館駐車場指定管理者候補者選定方法等一覧

項目		内容			
管理運営業務	主な管理運営業務の内容	駐車機器等の設置、料金回収、駐車券補充、維持管理業務(施設・設備保守点検・清掃・警備等)。			
	結果	駐車機器の管理等を適切に行うほか、さくらまつり期間中には人員を配置し渋滞回避を図った。 また、緊急対応事案にも適切に対応している。			
	評価	施設の維持管理のほか、利用者の安全対策等に適切な対応が図られている。 また、指定管理者の提案により駐車場の回数券を追加する等、利用者の利便性向上に努めていると評価する。			
自主事業	事業計画の内容	観光館施設利用者を対象とした駐車チケット販売、WEBサイト「弘前市立観光館駐車場」を活用した駐車場情報の提供。			
	結果	利用率向上と情報提供の強化が図られた。			
	評価	関連施設と連携する取組により利用者の利便性の向上に寄与している。また、駐車情報の提供により利用者の増加にも取り組んでいる。			
評価課題を踏まえた、指定管理者の選定方法や施設の管理運営における課題		引き続き、弘前市立観光館及び弘前市立図書館の利用者の利用を確保したうえで駐車場の適正稼働を図るとともに、駐車場の有効活用ができる事業者の提案が必要。 (さくらまつり期間以外の平日の稼働率の向上等) また、さくらまつり期間の利用が特に集中することから、当該期間における事業の提案も必要。			
評価課題を踏まえて、指定管理者の選定方法や施設の管理運営に反映した改善内容		特に要請する事項において民間事業者が持つ知識や経験、ネットワークを活用した柔軟な発想による取組の提案を要請。			
3. 指定管理者に特に要請する事項					
<ul style="list-style-type: none"> ・利用の促進と利用者サービスの向上に資する事業の実施。 ・市の観光振興に資する事業の実施。 ※カーシェアサービスの実施など観光客等の移動手段を確保するほか、弘前さくらまつり等における市が実施する交通対策への協力など					
4. 次期指定期間における成果指標について					
指標内容	利用台数				
目標値	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度
	128,650	128,650	128,650	128,650	128,650
指標内容	(この欄は空白)				
目標値	(この欄は空白)				

弘前市立観光館駐車場指定管理者候補者選定方法等一覧

5. 次期指定管理者の選定方法等について			
募集方法		公募	
非公募とする団体			
非公募とする理由			
指定期間		5年	
5年以外とする理由			
利用料金制の有無		完全利用料金制	
応募要件			
グループ応募の可否		可	
事業所の範囲		市内に主たる事務所を所有する団体。グループ応募の場合は、構成するいずれかの団体が市内に主たる事務所を有する団体。	
専門資格等の要否		否	
選定基準			
評価項目		評価の視点	配点
(1)	総合的事項		10
	施設の設置目的及び市が示した管理運営の方針との適合性	施設の設置目的である観光館等の利用者の駐車場並びに一般車両の駐車場としての利用を確保したうえで駐車場の適正稼働を図るとともに、観光振興に資する事業の提案がなされているか。	10
(2)	市民の平等な利用を確保することができること		5
	平等な利用を図るための具体的手法及び期待される効果	関係法令等の遵守、利用者の平等な利用の確保、差別的な取扱いをしないための具体的な手法が記載され、十分な効果が期待できる内容となっているか。	5
(3)	施設の設置目的を効果的に達成することができること		40
	① 利用者の増加を図るための具体的手法及び期待される効果	利用者の増加を図るために、具体的な事業計画が記述され、十分な効果が期待できる内容となっているか。	10
	② サービスの向上を図るための具体的手法及び期待される効果	サービスの向上を図るために、利用者等の要望、意見を日常的及び定期的に把握するための仕組みを整え、実行するとともに、把握した要望等について管理に反映するための具体的な計画が記載され、その実現性が高いものとなっているか。	10
	③ 施設の維持管理の内容、適格性及び実現の可能性	利用者の安全確保や快適に施設を利用できるよう、施設を適正に維持管理するとともに、常に効率的・効果的な管理に努めることができるよう、具体的な実施計画が記載され、その内容が的確で実現性の高い内容となっているか。	10
	④ 自主事業の企画内容及び期待される効果	施設の有効活用を通じて利用者の増加につながる自主事業を企画し、利用者の満足度・利用率の向上につながる提案がなされているか。	10

弘前市立観光館駐車場指定管理者候補者選定方法等一覧

(4)	施設の効率的な管理運営ができること		20
	①	施設の管理運営に係る経費の内容 人件費を含めて、施設の管理に係る経費の内容が具体的で、適正に見込まれているか。	10
	②	収支計画の内容、適格性及び実現の可能性 収入、支出の積算と事業計画の整合性は図られているか。収支計画の実現可能性はあるか。	10
(5)	施設の管理運営を適正かつ確実にを行う能力を有していること		20
	①	安定的な管理運営が可能となる人的能力 団体の組織体制が確立され、指揮命令系統及び責任の所在が明らかで、施設管理に係る職員の位置づけが明確にされているか。施設運営に柔軟に対応できる人的計画がなされ、職員の育成・研修体制なども能力の向上が図られるよう計画されているか。	5
	②	安定的な管理運営が可能となる経理的基盤 収支基盤及び経営が安定しているか。	5
	③	個人情報等の適正な取扱いの確保 個人情報等の適正な取扱いの確保について具体的に記載しており、その実現性が高い内容になっているか。	5
	④	類似施設の管理運営実績 類似施設の管理運営実績があるか。また、どのような評価を得られているか。	5
(6)	地域経済活性化への寄与		5
	地域経済の活性化及び市内雇用の場の確保 地域経済の活性化及び市内雇用の場の確保の観点から、応募団体における市内団体の構成比率が高いものになっているか。		5
合計			100

弘前市立観光館駐車場指定管理者候補者選定方法等一覧

6. 指定管理者の業務内容について				
項目	業務区分			
	指定管理者	市		
維持管理に関する事業				
1	建築物等保守管理業務			
	(1)	① 巡視及び異常時の連絡	○	
		② 保守・点検(専門的)	○	
		③ 小額修繕(1件あたり20万円未満)	○	
		④ 中・大規模修繕		○
	(2) 機械・設備保守管理業務	○		指定管理者が設置する駐車機器等の管理
	(3) 清掃業務	○		
	(4) 植栽管理業務	—	—	植栽無し
	警備業務			
	(5)	① 人警備	—	—
② 機械警備		○		
(6) 除雪業務	○			
(7)	備品関連業務			
	① 備品の管理	○		
	② 備品の調達	○		
	③ 調達備品の保守・点検	○		
2	使用の許可等に関すること		○	
3	使用料の収納業務に関すること		○	
4	施設で行う事業の実施に関すること			
	(1)	自主事業	○	
		期待する自主事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・利用の促進と利用者サービスの向上に資する事業の実施。 ・市の観光振興に資する事業の実施。 	
新たに指定管理業務に追加する業務		なし		
職員配置等の条件		(1) 施設全体を統括できる能力を有する責任者を配置すること。(連絡が取れる体制であれば、常駐の必要はない。) (2) 開館時間中は、特別の場合を除き、常に1名以上の職員が対応できる体制を整えること。(連絡が取れる体制であれば、常駐の必要はない。)		
現在の職員配置体制		常駐無し		
補足説明				
7. 指定管理料の積算内訳				
	次年度収支予算(円)	当年度収支予算(円)	増減	
指定管理業務に係る収入	11,743,800	12,030,000	-286,200	
利用料金	11,743,800	12,030,000	-286,200	
指定管理料	0	0	0	
その他	0	0	0	
指定管理業務に係る支出	10,762,000	10,565,500	196,500	
人件費	5,707,000	5,670,000	37,000	
事務費	280,000	400,000	-120,000	
管理費	4,575,000	4,495,000	80,000	
その他	200,000	500	199,500	
増減の主な内容	(収入)実績値を参考に算出した次年度収入額と現指定管理期間の基準額との差による減。 (支出)施設管理経費の増。			

弘前市立観光館駐車場

入口・出口



弘前市立観光館駐車場

発券機・入場ゲート



精算機・退場ゲート



弘前市立観光館駐車場

駐車区画



弘前市立観光館駐車場

地上・地下連絡通路

